ハードディスクムービー

型名 GZ-MG575/555

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

「安全上のご注意」(P.8)および、「使用上のご注意」(P.10)は、
必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

ユーザー登録
のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の
提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

準備

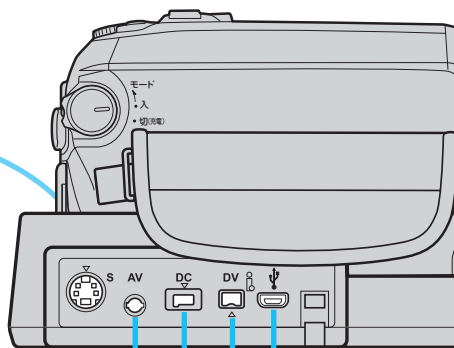
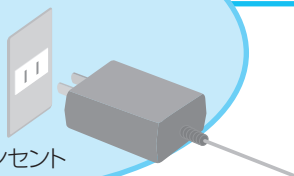
撮影・再生

消去・編集

保存・印刷

必要なとき

困ったとき

撮ったら エブリオドックに 置くだけ。

本機のAV端子とDC端子もご利用いただけます。

楽しみかた、いろいろ!

大容量の本機（HDD）にたっぷり撮影したら、あとは本機をエブリオドックに置くだけ!

大画面で見たり、オリジナルDVDをつくったり…。いざという時に充電が切れていた、ということもなくなります。

いつもあなたのそばで、“この瞬間”を大切に残します。

撮影した静止画を、いろいろなところに持ち出そう!

SDカード(市販)

DVDライター（別売）

DVDにコピーして

残す!

DVDライターで手軽に、
パソコンでも、DVDをつくろう!

パソコン

パソコンに取り込んで

創る!

パソコンでは高度な編集も…

DVDレコーダーなど

DVケーブル(別売)で接続すると、デジタルの美しい映像が残せます。

もくじ

確認する

■本書のアイコン
動画アイコンは動画モードの、
静止画アイコンは静止画モードの
機能をあらわします。

準備する まずは!

撮影する

再生する

もくじ(つづき)

消去／保護する

編集する

保存する

選べる!

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水場での使用禁止

実行して欲しいこと

一般的指示

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス(+)とマイナス(−)のまちがい
- 金属物(ネックレス、ヘアピンなど)といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温(60℃以上)になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

分解禁止

分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

付属のACアダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

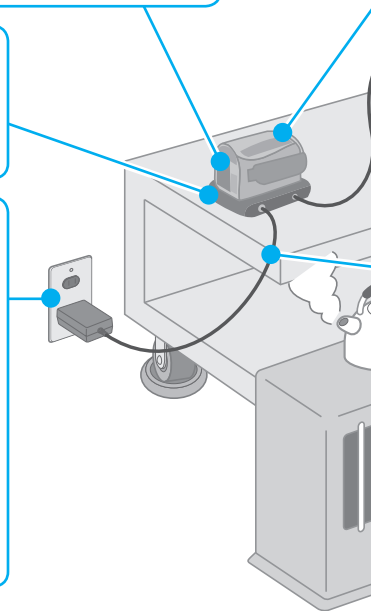
ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

禁止

内部に物を入れない
・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない
・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪が降る中やふろ場などで使用しない
・内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機からの電磁波が計器類に影響を与えるおそれがあります。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

一般的指示

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

禁止

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

禁止

熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

使用上のご注意

本機について

●精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。
ハードディスク(HDD)が認識されなくなったり、記録や再生ができなくなります。

●本機に内蔵されたハードディスク(HDD)と、市販のSDカードに記録できます。

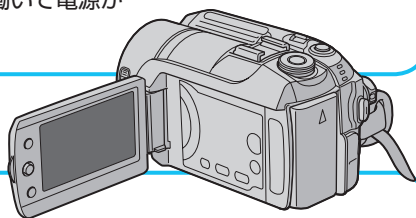
●撮影したデータはパソコンやDVDに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。パソコンをお持ちでない方は、DVDライター(別売)をご利用いただくか、ビデオ機器にダビングしてください。

●SD-VIDEO規格に準拠したMPEG2方式で動画を記録・再生します。
DV方式やその他の方式のビデオとは、互換性がありません。

●気圧の低い場所(海抜3000m以上)では使用できません。

●指定された動作環境でご使用ください。(P.102)

●振動や大きな音がする場所で使用しないでください。

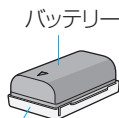
●本機を動かすと、落下検出機能が働いて電源が切れることがあります。(P.98)

液晶画面について

●表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、割れる場合があります。

バッテリー(充電式電池)について

- 正常な動作のために必ずビクター製品をお使いください。
- ご購入時は充電されていません。(P.26)
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせない)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 長期間使わないときは…
  ・劣化を防ぐため、使い切ってからはずす。
  (撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
  ・半年に1回程度は充電し、使い切って保管する。
- はずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約15~25℃の乾燥したところで保管してください。

バッテリー
バッテリーキャップ

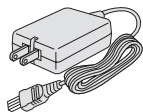
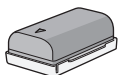
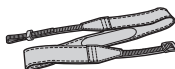
- バッテリーを処分する際はP.104をご覧ください。

■カメラやSDカードを廃棄/譲渡するときは、データの流出にご注意ください

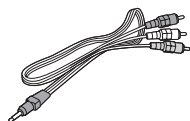
- カメラやパソコンによる「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。市販のデータ復元(修復)ソフトなどで、データを復元できる場合があります。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、カメラ(ハードディスク)やSDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
  この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の機能を使って廃棄するには、P.100をご覧ください。

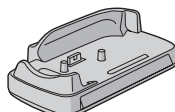
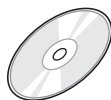
■イラスト・画面について

- 本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

付属品／別売アクセサリー

万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、
または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

ACアダプター
AP-V14

バッテリーパック
BN-VF808

ショルダー
ストラップ

ワイヤレスリモコン
RM-V750

専用映像/音声コード

専用USBケーブル
Aタイプーミニ Bタイプ

エブリオドック
CU-VC5

CD-ROM

取扱説明書
(本書)

■別売アクセサリー（詳しくはカタログをご覧ください。）

バッテリーパック	BN-VF808
バッテリーパック	BN-VF815
バッテリーパック	BN-VF823
バッテリーチャージャー	AA-VF8

バッテリーキット	VU-V840KIT※
バッテリーキット	VU-V856KIT※
DCコード	VC-VBN800
DVDライター	CU-VD20/CU-VD10

※ VU-V840KITとVU-V856KITは、バッテリーを本機に直接取り付けずに、付属のポーチに入れたバッテリーを、別売のDCコード（VC-VBN800）で本機と接続して使います。

日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリーやACアダプター、電源プラグをはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 <ご注意> ・ベンジンやシンナーは使わない。（損傷や故障の原因） ・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。 （汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因）

海外で使うときは

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。
ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

■訪問国や地域に合った変換プラグをご用意ください

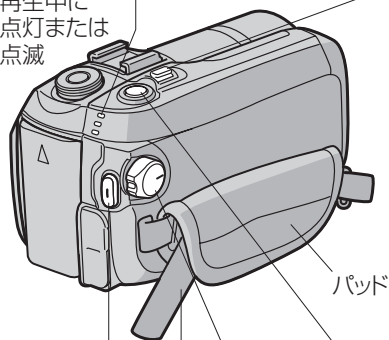
コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

■次の訪問国や地域では、現地のテレビでも再生することができます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」（P.51）をご覧ください。

- アメリカ合衆国
- 韓国
- コスタリカ
- トリニダード・トバコ
- バハマ
- フィリピン
- ペルー
- ミクロネシア
- エクアドル
- キューバ
- コロンビア
- ドミニカ
- バミューダ
- プエルトリコ
- ホンジュラス
- ミャンマー
- エルサルバドル
- グァテマラ
- スリナム
- ニカラグア
- バルバドス
- 米領サモア
- ボリビア
- チリ
- カナダ
- グアム
- 台湾
- ハイチ
- パナマ
- ベネズエラ
- メキシコ

各部の名前とはたらき

動画／静止画ランプ
動画／静止画のとき点灯
アクセスランプ
記録中や
再生中に
点灯または
点滅
−音量＋
W
T
ズーム／音量レバー
撮影中
広く／大きく撮る(P.32)
〈W側〉
〈T側〉
動画再生中
音量を変える(P.46)
再生中(動画は停止中)
一覧( )／全画面( )表示
を切り替える
パッド
グリップ
ベルト
(P.24)
静止画
静止画ボタン
静止画を撮影する(P.33)
録画
録画ボタン
動画を撮影する
(P.32)
モード
入
切（充電）
電源／モードスイッチ
電源を入れる(P.30)、
／ モードを切り替える(P.30)
〈動画モード〉
〈静止画モード〉

リモコン受光部
ライト
フラッシュセンサー
フラッシュ
レンズカバー(カバーにさわらない)
レンズ
シュー

USB端子/マイク端子

DVDライターやパソコンに接続する(P.66、80)

外部マイクを接続する

ステレオマイク

○開
↕
●閉

レンズカバースイッチ

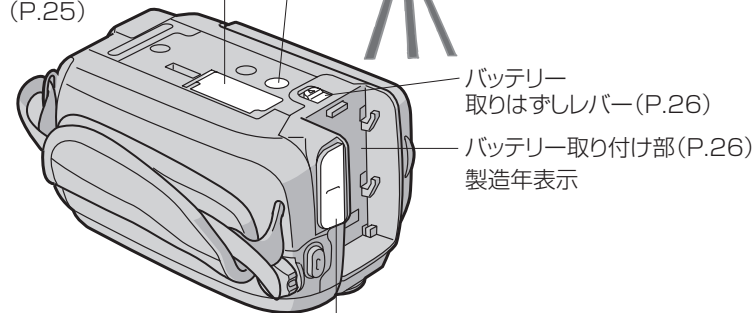
レンズカバーを開閉する(P.30)

SDカードカバー

カードスロット(P.25)

三脚取り付け穴

バッテリー取りはずしレバー(P.26)

バッテリー取り付け部(P.26)
製造年表示

AV/DC端子

AV端子
テレビやビデオに接続する(P.51、74)

DC端子
電源コンセントに接続する(P.27)

各部の名前とはたらき

屋内/屋外モード(NDフィルター)/セルフタイマーボタン

動画撮影 屋内/屋外モードを切り換える(P.37)

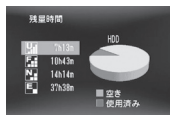
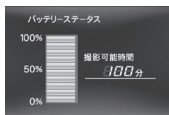
静止画撮影 セルフタイマーを使う(P.36)

スピーカー

インデックス

残量表示/インデックスボタン

撮影

残量情報を表示する(P.33)

〈残録画時間〉

〈充電状況〉

再生

見たい画像を探す(P.48)

〈インデックス〉

十字キー(P.18)

液晶画面

撮影中は、液晶の開閉で電源の入/切ができます。(P.31)

ファンクション

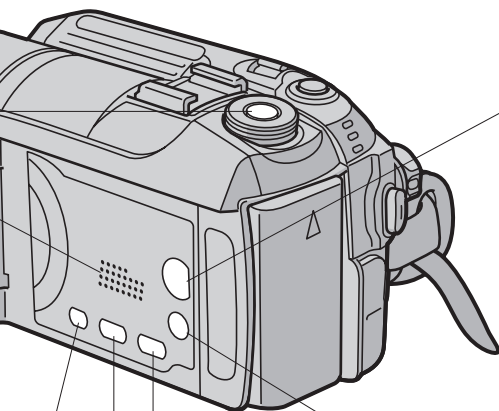
ファンクションボタン

便利な機能を使う(P.40)

メニュー

メニューボタン

設定を変える(P.94)

(P.96)
(P.97)
(P.98)
(P.100)

切 換
再生／撮影

切換ボタン

撮影／再生を切り換える（P.30）

〈撮影 P.32〉

〈再生 P.46〉

テレマクロ

インフォ

テレマクロ／インフォボタン

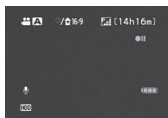
撮影

テレマクロ（）を使う（P.36）

再生

撮影日などのファイル情報を見る（P.46、47）

<ファイル情報>

<ヒストグラム>

ダイレクト
DVD

ダイレクトDVD

DVDライター接続中

DVDにコピーする（P.66）

Windows接続中

パソコンからDVDに保存する（P.83）

ダイレクト
バックアップ

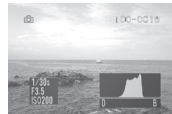
イベント

ダイレクトバックアップボタン／イベントボタン

撮影

イベントを記録する（P.34）

Windows接続中

パソコンに保存（バックアップ）する（P.80）

各部の名前とはたらき

逆光補正 / ライト / フラッシュ / フォーカス / ナイトアイキー

撮影　被写体や目的に合わせて、撮影時の機能を使う

逆光を補正して(P.43)

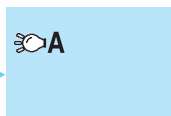
：逆光補正
：スポット補正

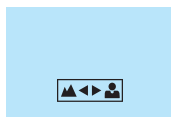
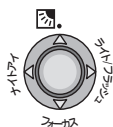
暗いところで
(P.43)

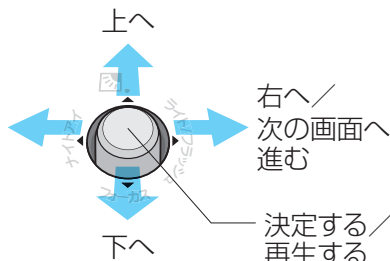
A：ナイトアイ

ライトを照らして
(P.44)

：常に点灯
A：オート

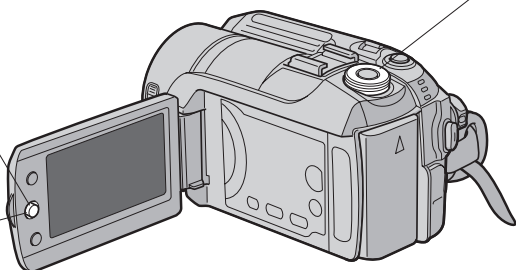
フラッシュを
設定して(P.42)

A：オート
A：赤目軽減オート
：必ず発光
S：スローシンクロ

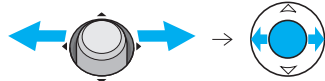
ピントを合わせて
(P.44)

：遠くに合わせる
：近くに合わせる

十字キー

再生　インデックス画面などで
移動・選択・決定する

■再生中の操作➡(P.46、47)

シーンダイヤル

撮影　オート撮影／マニュアル撮影を切り換えたり、場面や状況に合わせて調節する(P.38)

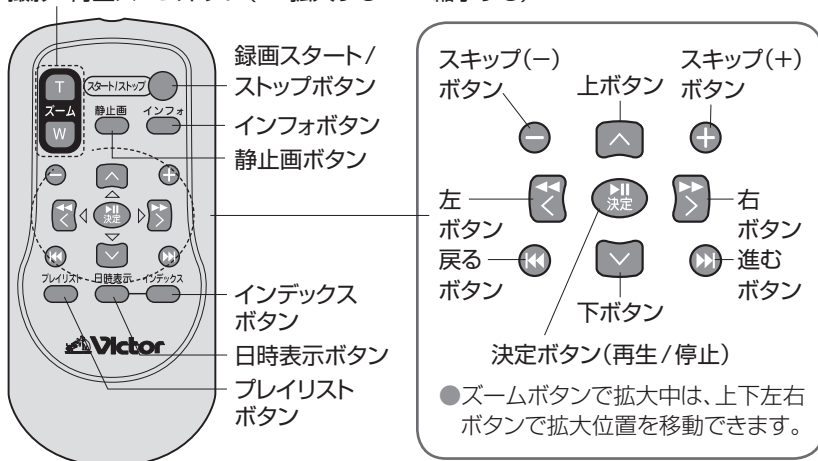
A：オート(P.32)	：スポーツ	：スノー
M：マニュアル(P.40)	：スポットライト	A：絞り優先 AE
：夜景	：ポートレート	S：シャッタースピード優先 AE

■本書では、十字キーを次のように説明しています

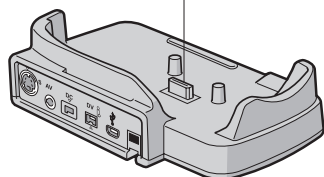
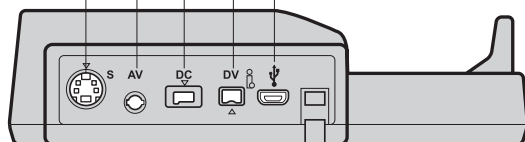
（左右に動かすとき）

●「⇔」押す

（中心を押し込むとき）

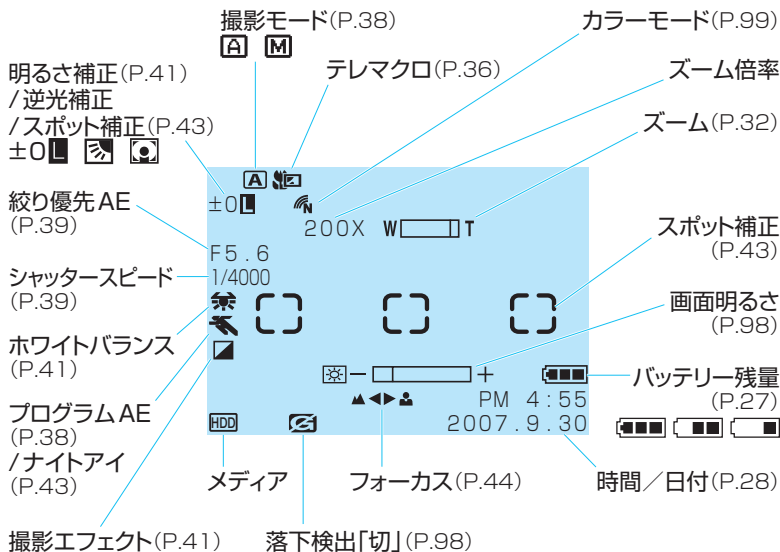
●「決定」ボタン押す

各部の名前とはたらき

リモコン

●リモコンは受光部(P.15)に正面から向け、屋内は約5m以内でご使用ください。

エブリオドック

画面の見かた

共通

撮影時

■メニュー表示中など、操作のヒント(ガイド)が表示されます

操作ガイド表示

準備
撮影・再生
消去・編集
保存・印刷
必要なとき
困ったとき

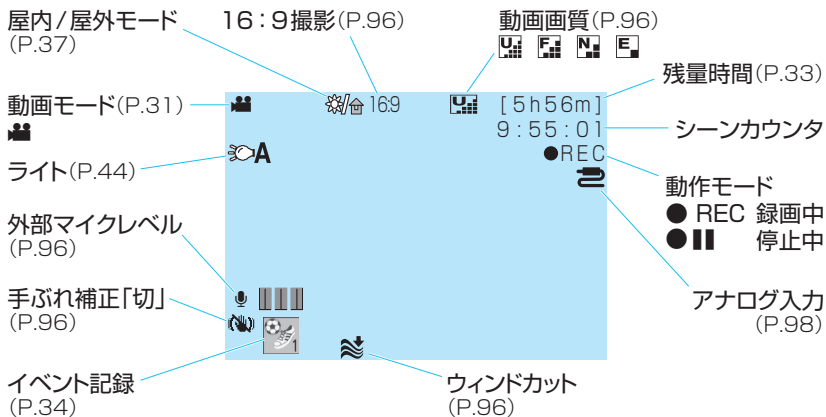
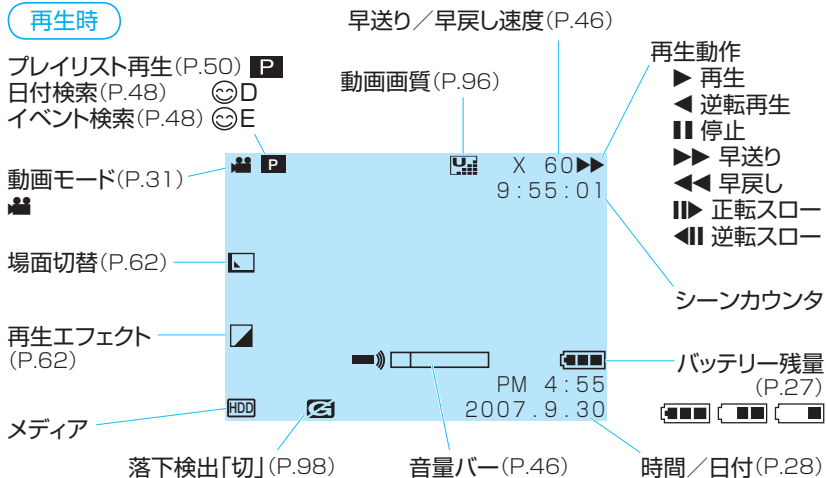
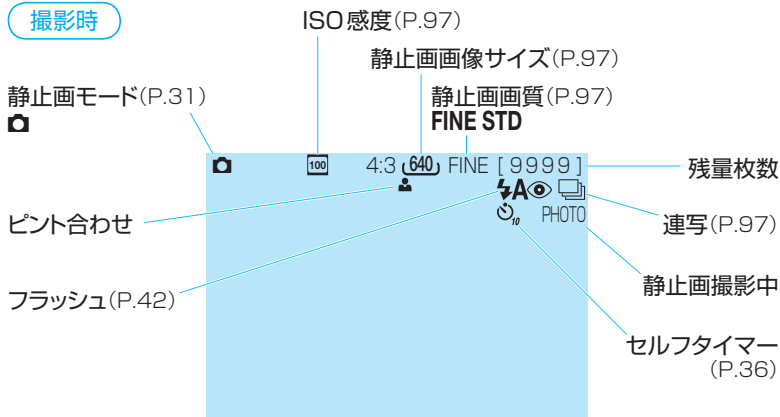
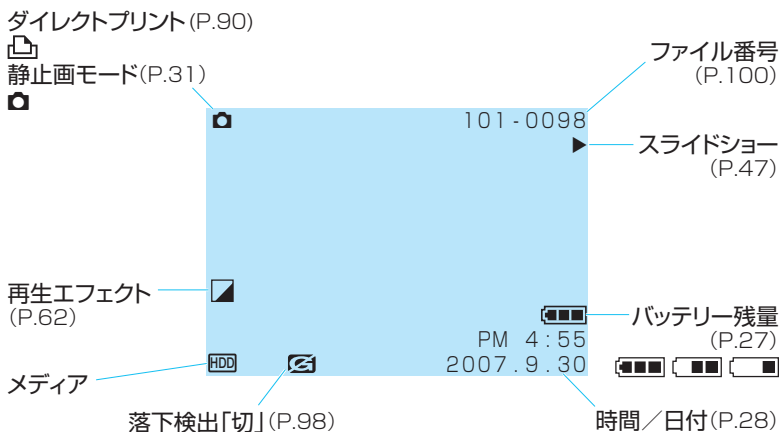
画面の見かた

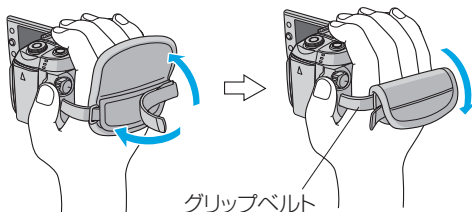
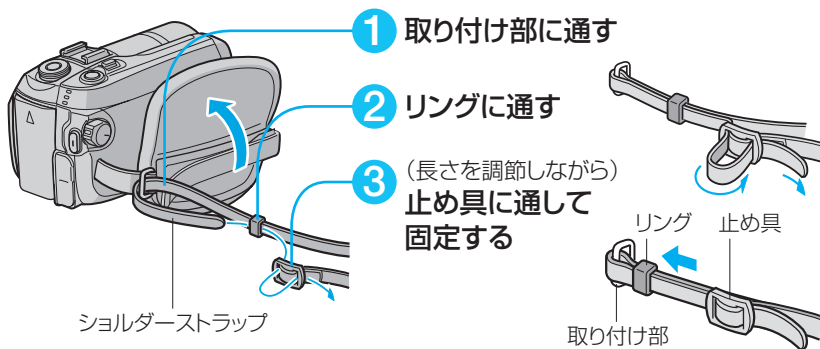
動画のとき

静止画のとき

撮影時

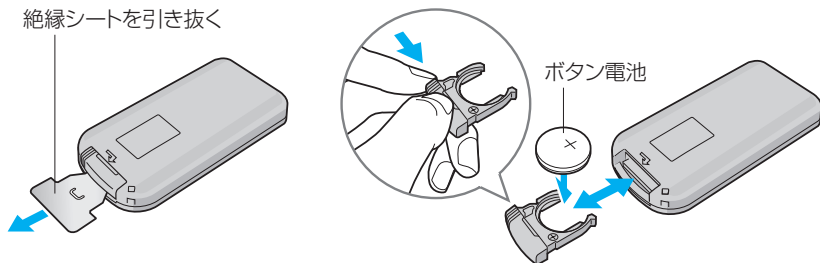
再生時

準　備　1

付属品を取り付ける

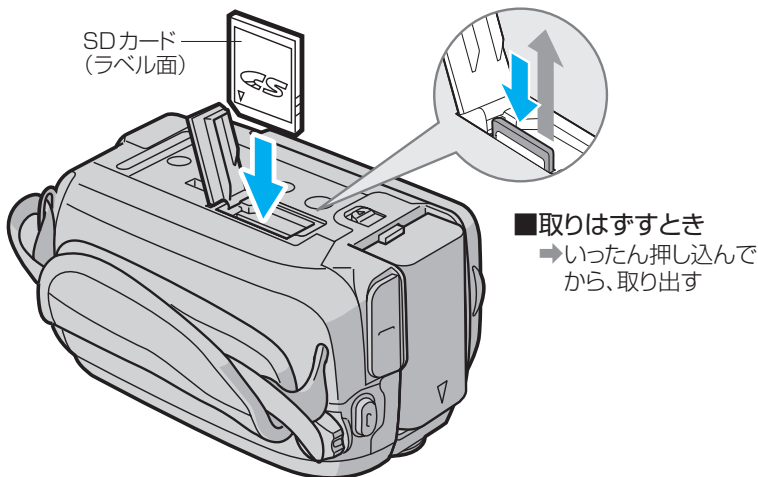
グリップベルトを調節する

ショルダーストラップを取り付ける

リモコン電池の用意をする

■電池を入れ替えるとき

準 備 2

SDカード(市販)を入れる

動画と静止画の記録先を分けたいときや、撮影した静止画をお店でプリントしたいときなどには、市販のSDカードを入れておくと便利です。(SDカードがなくても撮影できます)

確認 ●電源/モードスイッチ:「切」

■取りはずすとき
➡いったん押し込んでから、取り出す

■動画や静止画をSDカードに記録するとき
➡「動画メディア」(P.96)、「静止画メディア」(P.97)

■本機(HDD)の静止画をSDカードに移すとき ➡(P.88)

お願い

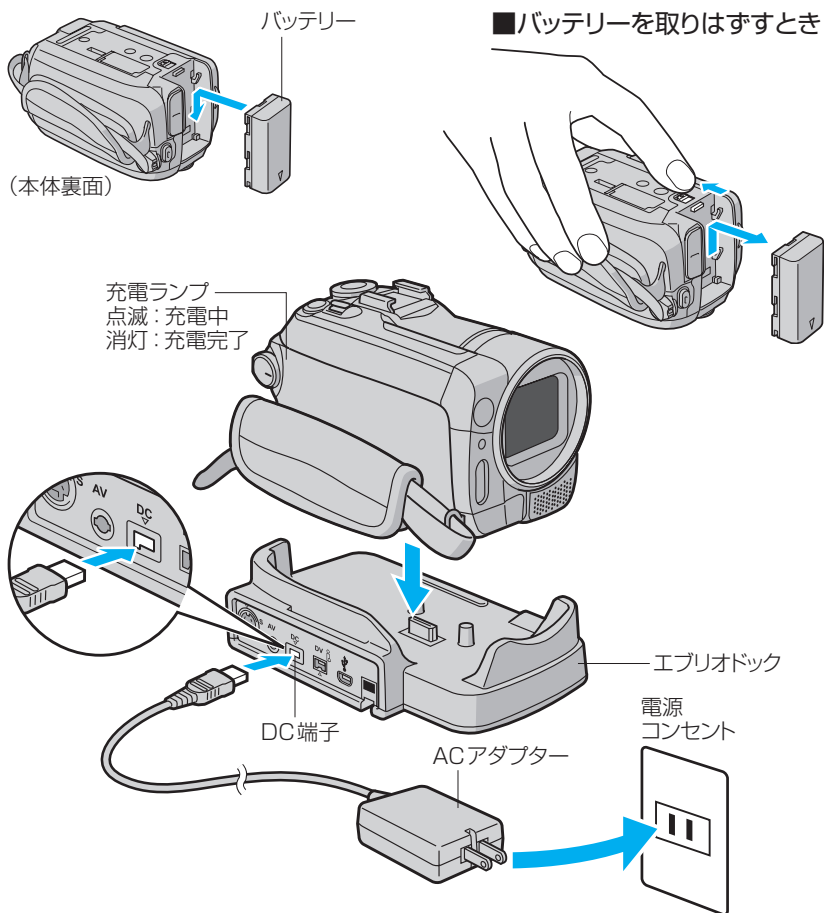
●新しく買ったSDカードを、はじめて使うときはフォーマットしてください。(P.100)

●次のSDカードで動作確認をしています。(128MB〜4GBまで)
・松下製 Panasonic ・東芝製 TOSHIBA ・サンディスク製 SanDisk
その他のSDカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

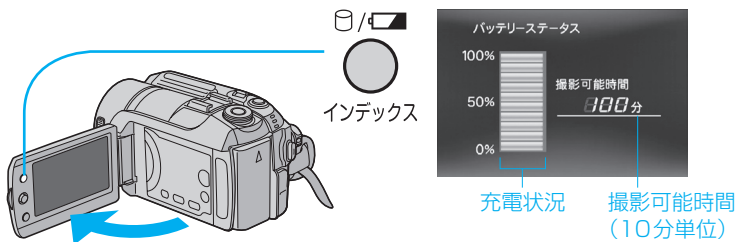
●SDカードに動画を記録するときは、書き込み速度が10MB/s以上のものをお使いください。

準備 撮影・再生 消去・編集 保存・印刷 必要なとき 困ったとき

準備 3 充電する

確認　●電源／モードスイッチ：「切」

お知らせ　●充電時間の目安は、付属のバッテリーで約1時間30分です。（室温10℃～35℃の範囲を想定）

屋外での撮影などに便利なバッテリーを充電します。
いつもエブリオドックにのせておけば、充電し忘れも防げます。

■バッテリー残量の目安を調べるとき
（電源「切」時）

- 約5秒間表示します。
（ボタンを2秒押しすると、約15秒間表示）
- 撮影のときにも調べられます。
動画停止中（ボタンを2回押す）
静止画撮影中（ボタンを1回押す）

電源コンセントに差して使う

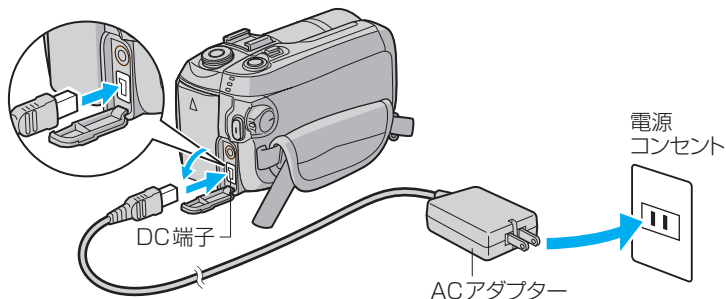
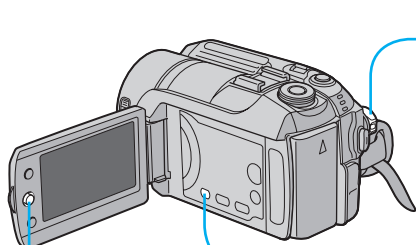
自宅での撮影や、バッテリーの充電が間に合わないときなどは、
バッテリーの残量を気にせずに撮影や再生ができます。

確認　●電源／モードスイッチ：「切」（充電するとき）
　　　　　　　　　　　　　　　／モード（撮影・再生するとき）

準 備 4

時計表示を合わせる

1

電源を入れる

2 メニュー M
メニュー一覧を表示する

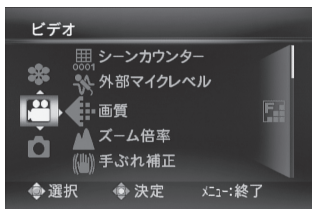
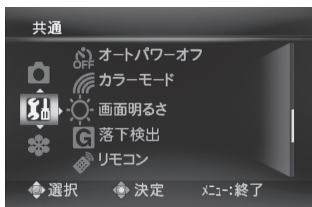
3 メニューに移動する

4 「」を選び、決定する

■終了するとき
➡「メニュー」ボタン押す

■一つ前に戻るとき
➡「⬅」押す

お知らせ

●日付や時刻の表示・非表示は、「日時表示」で設定できます。(P.99)

撮影時などに自動で記録される日付や現在時刻を
設定します。

日付と時刻を合わせる

時計合わせ

日付と現在時刻を合わせます。

①「時計合わせ」を選び、決定する

②日付・時刻をそれぞれ選び、決定する

●やり直すとき
➡「⬅」で戻る

日付配列と時刻表示を変える

日付表示配列

日付と時刻の表示方法を変えられます。

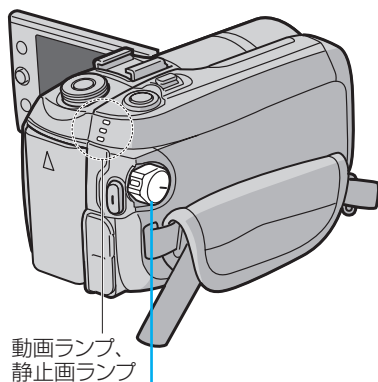
①「日付表示配列」を選び、決定する

②日付配列と時刻表示をそれぞれ選び、決定する

●日付は、
「年.月.日」
「日.月.年」
「月.日.年」
●時刻は、
「12h」「24h」

準備 5

基本操作を覚えよう

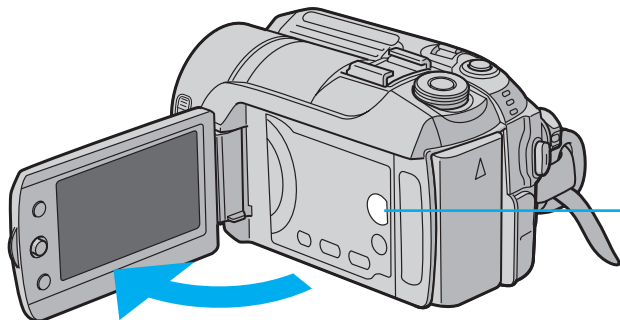
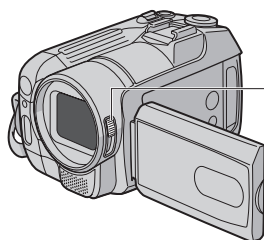
（撮影時は）
レンズカバーを開けておく

電源の入／切をする

電源/モードスイッチ

動画／静止画を選ぶ

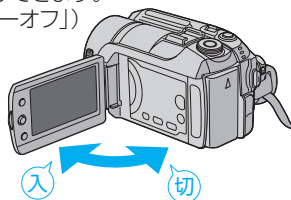
電源/モードスイッチ

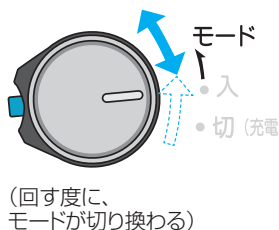
撮影／再生を選ぶ

切換ボタン

この操作は、撮影や再生・編集など、すべてに共通する操作です。
以降のページでは、「準備」の操作として説明を省略しています。

（押しながら回す）

●撮影のときは、液晶画面の開閉でも電源の入／切ができます。（「クイックパワーオフ」）

・5分以内に再度開くと、すぐに電源が入ります。（高速起動「入」のとき）（P.99）

●節電のため、操作せずに5分経つと電源が自動的に切れます。（バッテリー使用時のみ）

（回す度に、モードが切り換わる）

■ 動画モード

● 動画ランプが点灯

■ 静止画モード

● 静止画ランプが点灯

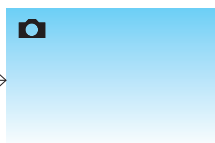
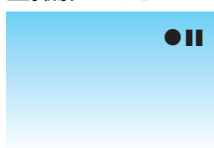
（押す度に、切り換わる）

■撮影のとき

■再生のとき

準備 撮影・再生 消去・編集 保存・印刷 必要なとき 困ったとき

オート撮影 1

動画／静止画を撮る

動画を撮る

準備　●電源/モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「撮影」
●シーンダイヤル：Ⓐオート撮影かⓂマニュアル撮影に合わせる(P.38)

① 押す
(撮影を始める)

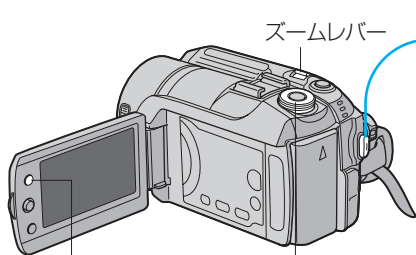
画質　残り時間　録画中

[4h56m]
●REC

② 押す
(撮影を終わる)

画質　残り時間　停止中

■画面比を4：3に変えるとき
➡「16：9撮影」(P.96)

16：9　4：3

●動画は12時間まで連続撮影できます。(動画の容量は最大4GB。長時間撮影ではファイルが分割して保存される)

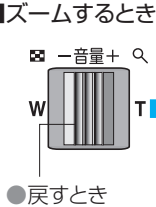
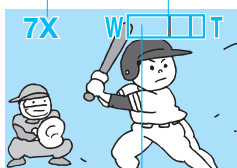
■ライトで照らすとき
➡「ライト」(P.44)

●設定変更前の映像は16：9の画面比で撮影されます。(P.96)

■ズームするとき

●戻すとき

現在のズーム倍率　ズーム位置

7X W T

光学ズーム(1～10倍)：映像が粗くならない

デジタルズーム(11～200倍)：映像が粗くなる、動画のみ

明るさやピントを自動で補正しながら、オート（自動）で撮影できます。手動で補正して撮るときは、マニュアル（手動）撮影します。（P.38～44）

静止画を撮る

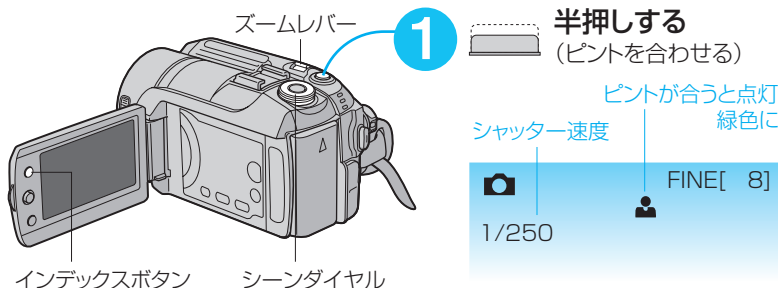
準備　●電源／モードスイッチ：📷モード
　　　●切換ボタン：「撮影」
　　　●シーンダイヤル：Ⓐオート撮影かⓂマニュアル撮影に合わせる（P.38）

1 半押しする
（ピントを合わせる）

ピントが合うと点灯
緑色に
シャッター速度

FINE[8]
1/250

2 全押しする
（シャッターを切る）

残り枚数
画質
FINE[8]
PHOTO
記録中

■セルフタイマーを使うとき
➡「セルフタイマー」（P.36）

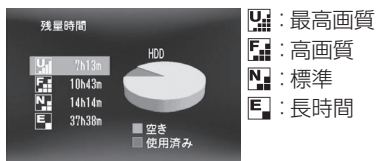
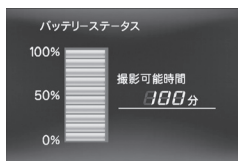
■フラッシュの光りかたを変えるとき
➡「フラッシュ」（P.42）

■連写するとき ➡「連写」（P.97）

●より多くの静止画を撮りたいときは、「画質」や「画像サイズ」を変更します。（P.97）

■録画可能時間やバッテリー残量を調べるとき

インデックス

U：最高画質
F：高画質
N：標準
E：長時間

●HDDの使用状況と残録画時間（動画のときのみ）
撮影「停止中」

●バッテリーの充電状況と撮影可能時間
電源「切」

オート撮影 2

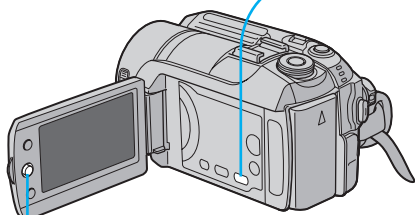
イベントを選択する

準備　●電源／モードスイッチ：モード
　　　●切換ボタン：「撮影」

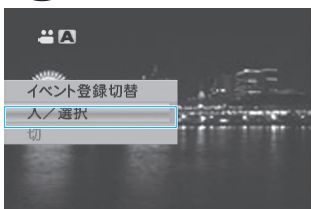
イベントメニューを表示する

「入／選択」を選び、決定する

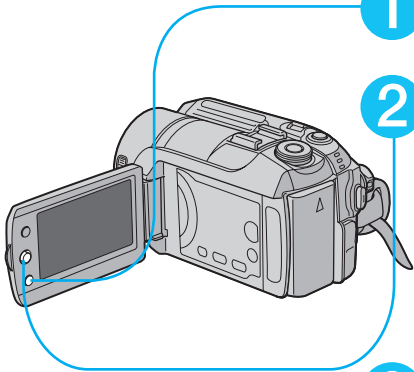
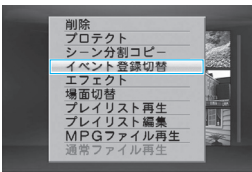
イベントの種類を選び、決定する

●決定後、撮影する動画に選んだイベントが記録され、画面にアイコンが表示されます。(P.22)
(変更するまで同じイベントが記録され続けます)

■終了するとき
➡「イベント」ボタン押す

■イベントの記録をやめるとき
➡手順②で「切」を選ぶか、
手順③で「設定なし」を選ぶ

■記録したイベントを変えるとき
➡「イベント登録切替」(P.35)

お知らせ

●イベントを設定していると、電源を入れたときや日付が変わったときに、選んだイベントのアイコンが数秒間表示されます。

動画を撮影する前に、「旅行」「運動会」「ペット」などのイベントを記録しておくと、検索や整理がしやすくなります。

一度記録したイベントを変更するとき

準備　●電源／モードスイッチ：🎥モード
　　　●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションファンクションを表示する

2 「イベント登録切替」を選び、決定する

3 変更後のイベントを選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す
「保存して終了」を選び、決定する

4 動画を選び、決定する

記録されているイベント

準備
撮影・再生
消去・編集
保存・印刷
必要なとき
困ったとき

オート/マニュアル撮影 3

さまざまな機能を使う

準備 ●電源/モードスイッチ：🎥/📷モード
●切換ボタン：「撮影」

オート撮影

📷

セルフタイマーを使う

セルフタイマー

設定して静止画ボタンを押すと、10秒/2秒後に撮影されます。

●押す度に…
10：10秒
↓
2：2秒
（手ぶれ防止の効果がある）
↓
（なし）：切

●カウントダウン中は、残り時間（秒）が表示される。

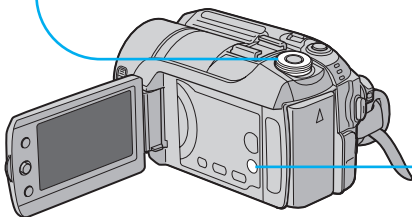
マニュアル撮影

🎥📷

マクロ撮影する

テレマクロ

被写体に近づいて接写（マクロ撮影）できます。

1
マニュアル撮影（M）を選ぶ

被写体に近づいて撮影したり、セルフタイマーを使ったり、屋外用に光量を減らして撮影したりできます。

オート撮影

光量を減らす

屋内/屋外モード（NDフィルター）

光量の多い屋外などで絞りを開いて撮影したいときや、シャッタースピードを下げて撮影したいときに使います。光量を1/4に減らす効果があります（絞り2段分）。

●押す度に…

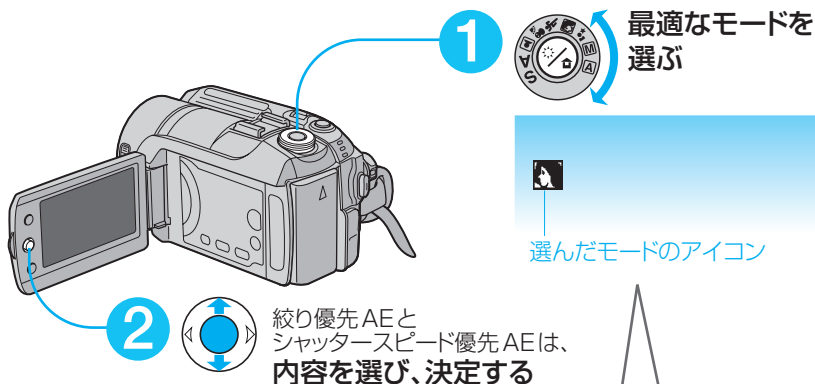
- 屋内モード（NDフィルター：なし）
- 屋外モード（NDフィルター：あり）

●押す度に…

- ：入（望遠（T）側で約51cmまで）
- （なし）：切（望遠（T）側で約1mまで）

マニュアル撮影 1

場面や状況に合わせる（プログラムAE）

準備　●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
　　　●切換ボタン：「撮影」

[A] オート撮影

[M] マニュアル撮影
：P.40、42

夜景モード
：夜景などを自然な感じに。

ポートレートモード
：背景をぼかして、人物を浮かび上がらせる。

スポーツモード
：動きの速いものを１コマ１コマ鮮明に。

撮りたいものに合わせて露出やシャッタースピードを調節し、
最適な設定で撮影できます。

スノーモード
：晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぐ。

スポットライトモード
：ライトの中の人物も明るくなりすぎない。

A 絞り優先AE
：絞りを調節できる。

S シャッタースピード優先AE
：シャッタースピードを調節できる。

モード	内容
絞り優先AE	（動画のとき）F3.5～F16 （静止画のとき）F3.5～F8 • 背景をぼかすときは ➡数値を小さくする • 背景にもピントを合わせるときは ➡数値を大きくする（被写体が暗くなることがあります）
シャッタースピード優先AE	（動画のとき）1/2～1/4000 （静止画のとき）1/2～1/500 （フラッシュ使用時）1/2～1/250 • 動きの速い被写体を鮮明に撮るときは ➡数値を小さくして、シャッタースピードを上げる（被写体が暗くなることがある） • 動きのある被写体の流れを撮るときは ➡数値を大きくして、シャッタースピードを下げる（手ブレしやすくなるので、三脚で固定をおすすめします）

マニュアル撮影 2

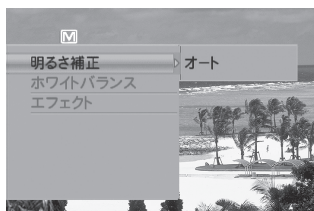
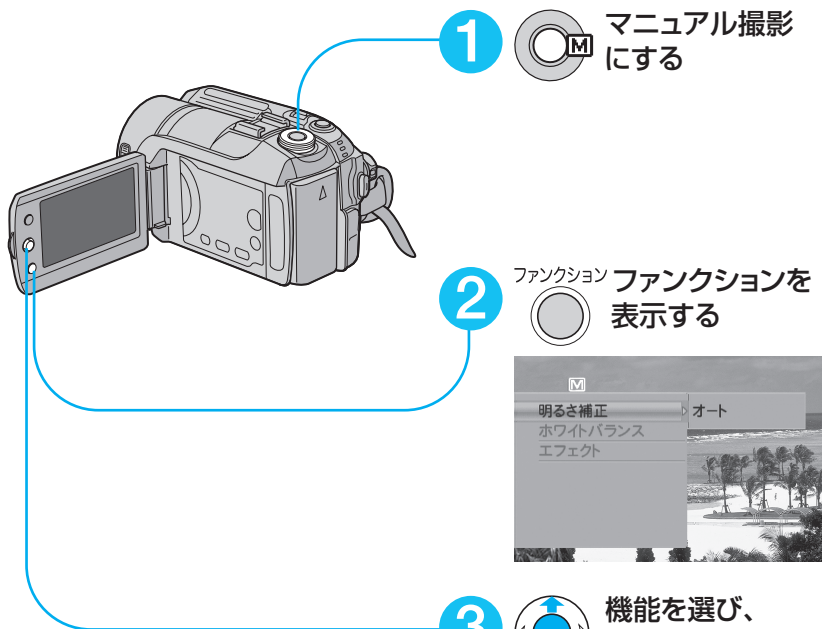
被写体や目的に合わせる(ファンクション)

準備　●電源/モードスイッチ：🎥/📷モード
　　　●切換ボタン：「撮影」

1 マニュアル撮影にする

2 ファンクション　ファンクションを表示する

3 機能を選び、決定する

4 内容を選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■一つ前の画面に戻るとき
➡「⬅」押す

明るさやホワイトバランスなどを、被写体や目的に合わせて
細かく調節できるファンクションが便利です。

ファンクション	内容
明るさ補正	(動画のとき) ●オート：自動的に明るさが調節される -6～+6：手動で明るさを調節する (静止画のとき) ●±0：明るさを補正しない -2.0～+2.0：手動で明るさを調節する • 明るさを固定するときは➡設定終了後、「決定」ボタンを2秒以上押し続ける。(L と表示)
ホワイトバランス	● A オート：自動的に自然な色合いになるよう調節される ワンタッチ：手動で被写体の色をより正確に調節する ➡①白い紙を画面全体に写す ②「ワンタッチ」の点滅が止まるまで、「決定」ボタンを押し続ける。 はれ：晴れた日の屋外で撮るとき くもり：くもりの日や日陰で撮るとき ハロゲン：ハロゲン撮影用ライトなど、照明の下で撮るとき
エフェクト	● OFF 切：効果をつけない セピア：古い写真のようなセピア色で撮る B/W 白黒：白黒映像のようなモノクロで撮る 映像効果：速いこま落としを付けて、映画のような効果で撮る(動画のみ) ストロボ：コマ落としで、連続写真のように撮る(動画のみ)

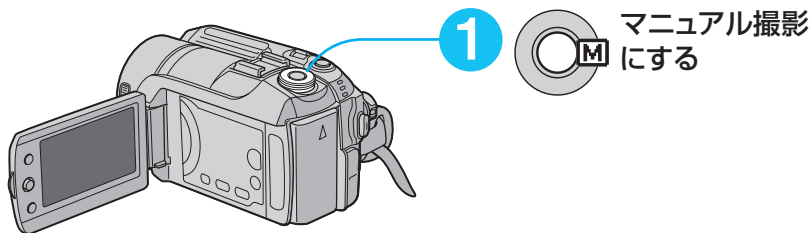
●印は、お買い上げ時の設定です

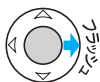
お知らせ ●再生時に「ファンクション」ボタンを押すと、削除や編集などの機能が表示されます。(P.52、56など)

マニュアル撮影 3

明るさやピントを調整する Ⅰ

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥/📷モード
●切換ボタン：「撮影」

📷 フラッシュの光りかたを変える

フラッシュ

フラッシュを発光させないとき、赤目を軽減したいときに。（オート撮影時にも変更できる）

●ϟが点滅するときは充電中です。（点灯するまで待つ）

●「➡」押す度に…

- ϟA ：オート（周囲が暗いと自動的に発光）
- ↓
- ϟA👁 ：赤目軽減オート（連続発光で赤目を軽減）
- ↓
- ϟ ：必ず発光
- ↓
- ϟS ：スローシンクロ（必ず発光し、シャッタースピードを遅くして、人物と背景をともに明るく）
- ↓
- （なし） ：切（発光させない）

●フラッシュが暗く感じるときは➡「感度」を「オート」または「400」にする（P.97）

通常のオート撮影（自動）で明るさやピントが思い通りに合わないときは、
マニュアル撮影（手動）で、いろいろに調節して撮影できます。

暗いところで感度を上げる

ナイトアイ

薄暗い所での撮影は、より多くの光を取り込んで明るく写すことができます。（最大30倍まで）

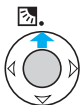
●「⬅」押す度に…

A ：ナイトアイ
↓
（なし）：補正なし

暗くなるのを補正する

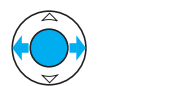
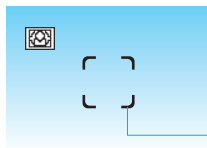
逆光補正

スポット補正

太陽に向かって撮影したときなど、被写体が暗くなるのを補正します。

●「⬆」押す度に…

：逆光補正
↓
：スポット補正
↓
（なし）：補正なし

■逆光補正がうまくいかないとき、
画面のスポット枠を明るさの基準にしたいとき

➡①スポット補正にする ②基準にする位置を選び、決定する

●スポット枠が動く。

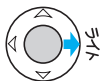
●明るさを固定するとき
➡手順②で２秒以上押し続ける（ と表示）

お知らせ

●ナイトアイとスローシンクロは、スローシャッターになりブレやすくなるので、三脚での固定をおすすめします。

●スチルメニューで「連写」を「入」や「ブラケット」にすると、フラッシュは発光しません。

明るさやピントを調節する Ⅱ

ライトで被写体を照らしたいときに。
(オート撮影時にも変更できる)

●「➡」押す度に…

- :常に点灯
- A :オート(周囲が暗いと点灯)
- (なし):切

●ライトが暗く感じるときは
➡「感度アップ」を「入」にする(P.96)

ピントが自動的に合いにくいときに、手動でピントを合わせられます。

①マニュアルフォーカスにする

(遠) (近)

●「⬇」押す度に…

(なし):オートフォーカス

②ピントを合わせ、決定する

●ズームを使うときは➡望遠(T)側でピントを合わせてから広角(W)側にズームすると、ピントがあいやすい

撮影時間／枚数の目安

動画（単位：分）	HDD		SDカード				
画質	MG575	MG555	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB
ウルトラファイン	570	430	3	7	14	29	57
ファイン	850	640	5	10	22	43	85
ノーマル	1130	850	7	14	29	57	113
エコノミー	3000	2250	19	38	77	152	298

静止画　（単位：枚）			SDカード				
画面	画像サイズ	画質モード	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB
4：3	2592×1944	ファイン	113	224	452	890	1749
		スタンダード	177	351	709	1397	2742
	2304×1728	ファイン	139	276	557	1097	2155
		スタンダード	216	429	867	1707	3352
	1600×1200	ファイン	283	562	1135	2195	4310
		スタンダード	472	937	1892	3616	7099
	640×480	ファイン	1560	3094	6246	9999	9999
		スタンダード	2229	4420	8924	9999	9999
16：9	2592×1456	ファイン	145	289	583	1138	2234
		スタンダード	229	455	918	1808	3549
	1920×1080	ファイン	264	524	1058	2049	4022
		スタンダード	410	814	1643	3235	6351
	1280×720	ファイン	577	1146	2313	4390	8620
		スタンダード	866	1719	3470	6830	9999

※HDDには（画像サイズや画質などに関わらず）9999枚まで撮影できます。

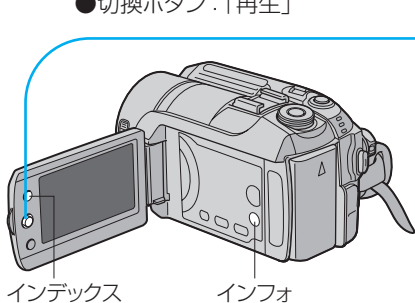
バッテリー	実撮影時間（ライト点灯時）	連続撮影時間（ライト点灯時）
BN-VF808	40分（35分）	75分（70分）
BN-VF815	75分（75分）	150分（145分）
BN-VF823	115分（110分）	225分（215分）
VU-V840KIT	205分（195分）	410分（390分）
VU-V856KIT	295分（280分）	590分（560分）

※実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。（撮影予定時間の約３倍分を用意することをおすすめします）
※充分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。（新しいものに交換してください）

再 生 1 動画/静止画を見る

動画を見る

準備 ●電源/モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1
動画を選び、

（インデックス画面）

再生する

（再生画面）

■一覧表示に戻るとき
➡（停止中）「インデックス」ボタン押す

■撮影日や撮影時間などの
情報を見るとき
➡（停止中）「インフォ」ボタン押す

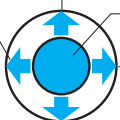
■撮影日などから探して見るとき ➡（P.48）

■テレビで見るとき ➡（P.51）

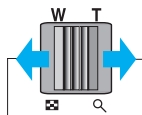
■削除するとき ➡（P.52）

■再生中の操作

⏮：シーン先頭へ戻る

◀◀：早戻し／コマ戻し（停止中）、スロー戻し（停止中、長押し）

▶II：再生／停止

▶▶：早送り／コマ送り（停止中）、スロー送り（停止中、長押し）

⏭：次の動画へ進む

−音量＋
W T
−：音量小 ＋：音量大

●早送り／早戻し中は、「⇔」に動かす度に、再生速度が変化する。（60倍速まで）

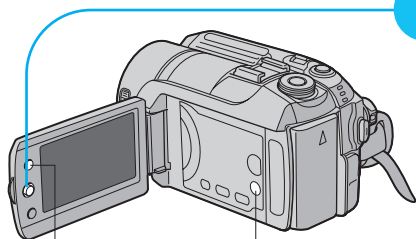
撮影した動画や静止画を、一覧表示(インデックス画面)から
選んで再生できます。

静止画を見る

準備　●電源/モードスイッチ：📷モード
　　　●切換ボタン：「再生」

❶ 静止画を選び、

(インデックス画面)

❷   再生する

(再生画面)

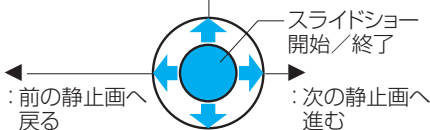
■一覧表示に戻るとき
➡「インデックス」ボタン押す

■スライドショーで見るとき
➡「決定」ボタン押す

■撮影日やサイズなどの情報を見るとき ➡「インフォ」ボタン押す

■撮影日などで探して見るとき➡(P.48)

■削除するとき ➡(P.52)

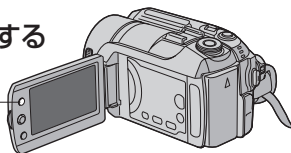
■再生中の操作

●スライドショーを再生中は、「⬆⬇」で再生順が逆になる。

■ヒストグラムを見るとき
➡手順2のあと「インフォ」ボタンを2度押す

再　生 **2**

探して見る（インデックス）

準備　●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
　　　●切換ボタン：「再生」（停止状態）

1 インデックスを表示する

（インデックス画面）

（日付検索画面）

（イベント検索画面）

🎥📷 **撮影日から探す**

日付インデックス

🎥 **イベントと撮影日から探す**

イベントインデックス

■中止するとき
➡「インデックス」ボタン押す

撮影したたくさんの動画や静止画を、撮影日や記録したイベントなどから
検索して、一覧表示させることができます。

撮影日で絞り込んだ動画や静止画を表示します。

①撮影日を選び、決定する

選んだ撮影日

②動画や静止画を選び、決定する

●選んだ日に撮影した動画・静止画のみ表示される。
●再生画面に「😊D」が表示される

イベントの種類と撮影日で絞り込んだ動画を表示します。
（イベントは設定されていないと表示されません。P.34）

①イベントの種類を選び、決定する

イベント　イベント名

②撮影日を選び、決定する

●選んだイベントを含む撮影日のみ表示される

③動画を選び、決定する

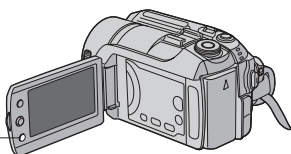
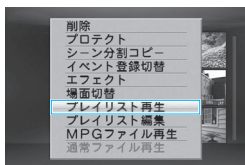
●選んだ日に撮影した動画のみ表示される。
●再生画面に「😊E」が表示される

●選んだイベントのすべての動画を見るとき➡手順②で「すべてのシーン」を選ぶ。

再生 3 プレイリストを見る

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

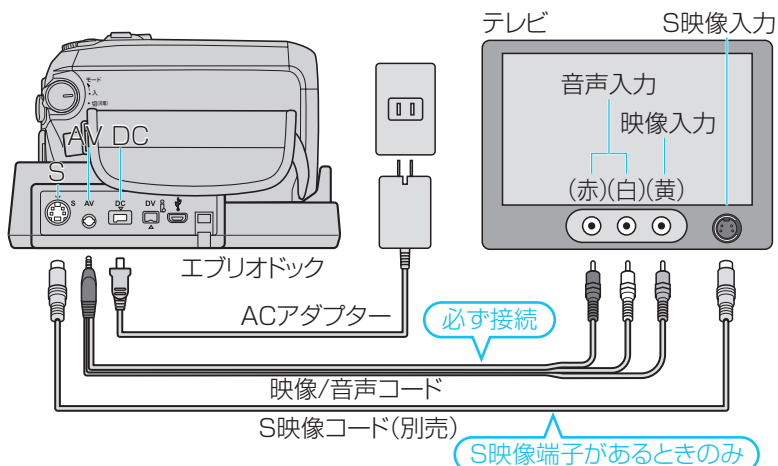
1 ファンクションを表示する

ファンクション

2 「プレイリスト再生」を選び、決定する

3 プレイリストを選び、決定する

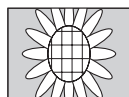
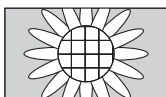
■プレイリストに含まれる動画を確認するとき
➡「インデックス」ボタン押す

■プレイリストをつくるとき
➡「プレイリストをつくる」（P.56）

再生 4 テレビで見る

準備　●電源／モードスイッチ：「切」
●お使いのテレビの説明書もご覧ください。

再生する

●動画を見るとき➡P.46
●静止画を見るとき➡P.47
●インデックスから探して見るとき➡P.48
●プレイリストを見るとき➡P.50

（16：9 の画面比で撮影したとき）

■テレビに合わせて画面比を変えるとき ➡「接続テレビ選択」(P.98)

■日付などの表示を消すとき ➡「テレビ表示」(P.99)

■日付だけを表示するとき ➡「画面表示(切)」、(P.98)「テレビ表示(入)」(P.99)
「日時表示(入)または(オート)」

お知らせ

●DVD ライターを接続しているときは、DVD ライターの電源を切ってください。

消 去 1

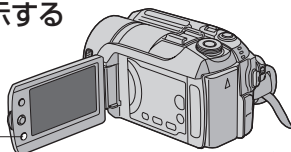
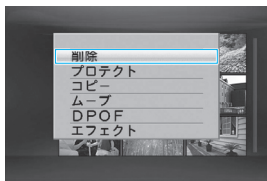
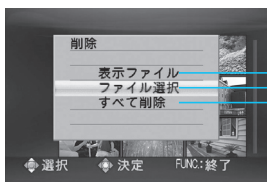
消去する／保護する

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

ファンクション

2 「削除」または「プロテクト」を選び、決定する

削除
プロテクト
コピー
ムーブ
DPOF
エフェクト

3 「削除」または「プロテクト」する方法を選び、決定する

1ファイルずつ
表示ファイル

複数のファイルを選んで
ファイル選択

すべてまとめて
すべて削除
すべてプロテクト
すべて解除

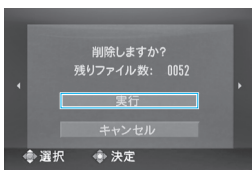
■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■誤消去防止のプロテクトをやめるとき
➡プロテクトをかけるときと同じ手順で、「プロテクト」を解除する

※画面は削除の場合

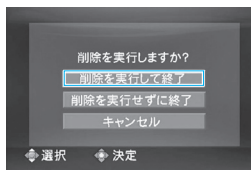
いらなくなった動画や静止画を削除したり、
大切な画像に誤消去防止の保護(プロテクト)をかけることができます。

いま選ばれている動画や静止画を、1つずつ削除またはプロテクトします。

①「実行」を選び、決定する

削除またはプロテクトしたい動画や静止画を選び、まとめて実行します。

①画像を選び、決定する

「🗑(削除)」または「🔑(プロテクト)」が表示

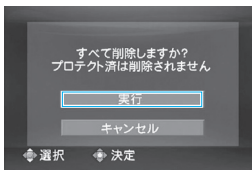
②まとめて「削除」または「プロテクト」する

ファンクション

●複数のファイルを選ぶとき➡手順①を繰り返す。
●解除するとき➡再び画像を選び、決定する。

③削除する場合は「削除を実行して終了」を選び、決定する

●プロテクトする場合は「終了」を選ぶ。

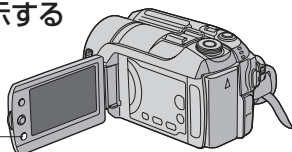
すべての動画、またはすべての静止画を、削除またはプロテクトします。

①「実行」を選び、決定する

●プロテクトするときは、
「すべてプロテクト」か
「すべて解除」が選べる。

編 集 1

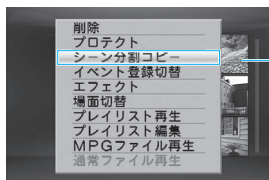
部分をコピーする（シーン分割コピー）

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「シーン分割コピー」を選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

お知らせ

●本機では、動画の一部だけを消去することはできません。部分消去するには、「シーン分割コピー」を使って動画の必要な部分を保存した後、不要な部分が含まれている元の動画を消去します。

シーンの前半／後半を抜き出す

シーン分割コピー

１つのシーンを２つに分割し、必要な部分だけをコピーして抜き出し、新しい動画として保存します。

動画の分割点を決め、必要な部分（前半か後半）を新しい動画としてコピーして保存します。

①動画を選び、決定する

（選んだ動画が再生される）

②分割したい場面で、⬇を押す

●停止するとき➡「決定」ボタン押す
●手順①に戻るとき
➡「インデックス」ボタン押す

動画全体の長さ

分割ポイント（現在の再生位置）

③抜き出す部分（前／後）を選び、決定する

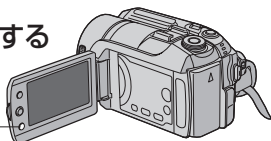
（「前をコピー」した場合、左が赤くなる）

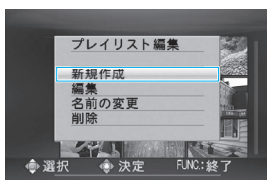
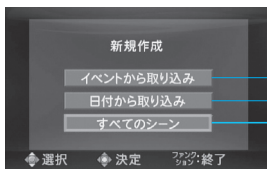
●コピー完了後、動画インデックス画面にコピーした動画が新しく追加されています。
●コピーした動画のファイル名や作成日は、コピーした日の日付になります。

編 集 2

プレイリストをつくる I

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「プレイリスト編集」を選び、決定する

3 「新規作成」を選び、決定する

4 作成方法を選び、決定する

■終了するとき ➡「ファンクション」ボタン押す

■プレイリストを修正／削除するとき ➡(P.60)

■プレイリストを再生するとき ➡(P.50)

すべての動画から選んで

すべてのシーン

撮影した動画をお好みの順でつなげるなどして、
オリジナル映像（プレイリスト）をつくることができます。（元の映像は残ります）

撮影したすべての動画からお好みの動画を選び、プレイリストをつくります。

①撮影した動画を選び、決定する

撮影した動画　プレイリスト　（選んだ動画がプレイリストに追加される）

●選んだ動画の内容を確認する➡「インデックス」ボタン押す
●プレイリストに追加した動画を消す➡「決定」ボタン押す

②挿入位置を選び、決定する

（挿入位置は動画が2つ以上
あるときに選べる）

③手順①～②を繰り返し、好みの順に動画を並べる

④確定する

ファンクション

⑤「保存して終了」を選び、決定する

（インデックス画面に戻る）

●作成した日時が、プレイリストの名前になります。

編 集 3

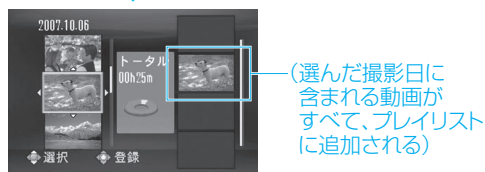
プレイリストをつくる Ⅱ

撮影日から探して

日付から取り込み

撮影日を選び、その日に撮影した動画をまとめて選んで並べます。

(P.56の手順④で「日付から取り込み」を選んだ後)

①撮影日を選び、決定する

- 選んだ撮影日に含まれる動画を確認する
  ➡「インデックス」ボタン押す
- 動画の内容を確認する
  ➡「⬆⬇」で動画を選び、決定する
- プレイリストに追加した動画を消す
  ➡「決定」ボタン押す

②挿入位置を選び、決定する(P.57 手順②)

(挿入位置は撮影日が2日以上あるときに選べる)

③手順①〜②を繰り返し、撮影日を並べる

④確定する

(「ファンクション」ボタン押す)

⑤「保存して終了」を選び、決定する

撮影した動画をイベントや撮影日から探してお好みの順でつなげて、
まとまったオリジナル映像(プレイリスト)がつくれます。

イベントと撮影日から探して

イベントから取り込み

記録したイベント(P.34)と撮影日を選び、
その日に撮影した動画をまとめて選んで並べます。

(P.56の手順④で「イベントから取り込み」を選んだ後)

①イベントを選び、決定する

選んだイベントが登録されている撮影日

②撮影日を選び、決定する(P.58 手順①)

③挿入位置を選び、決定する(P.57 手順②)
(挿入位置は撮影日が2日以上あるときに選べる)

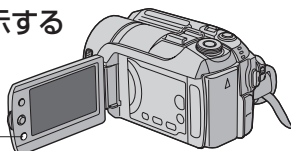
④手順②～③を繰り返し、撮影日を並べる

⑤確定する
(「ファンクション」ボタン押す)

⑥「保存して終了」を選び、決定する

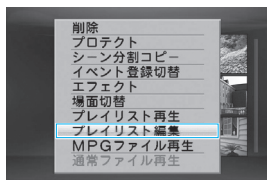
編　集 4

プレイリストを編集する

準備　●電源／モードスイッチ：🎥モード
　　　●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

ファンクション

2 「プレイリスト編集」を選び、決定する

削除
プロテクト
シーン分割コピー
イベント登録切替
エフェクト
場面切替
プレイリスト再生
プレイリスト編集
MPGファイル再生
通常ファイル再生

3 編集項目を選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■プレイリストを再生するとき
➡「プレイリストを見る」（P.50）

プレイリストを編集する

編　集

プレイリスト名を変更する

名前の変更

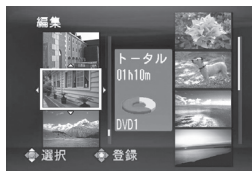
プレイリストを削除する

削　除

作成したプレイリストの名前を変えたり、中のシーンを削除したり、プレイリストを削除したりできます。(元の映像は残ります)

一度作成したプレイリスト内の動画を、削除したり並べ替えたりできます。

①プレイリストを選び、決定する

②(P.57の手順①〜⑤にしたがい)プレイリストをつくり直す

●プレイリスト内の動画を削除するとき➡「決定」ボタン押す

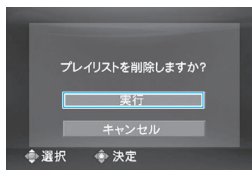
プレイリストの名前を、20文字以内で変更できます。

①プレイリストを選び、決定する

②名前をつける

プレイリストを削除します。(元の動画は消えません)

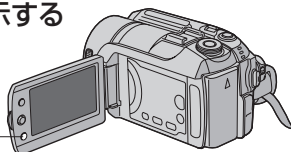
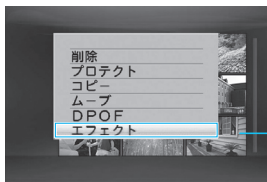
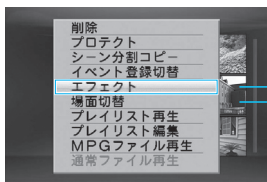
①プレイリストを選び、決定する

②「実行」を選び、決定する

●すべてのプレイリストを削除するとき➡「すべて削除」を選ぶ

編 集 5

映像に効果をつける

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「エフェクト」または「場面切替」を選び、決定する

（📷モードのとき）

（🎥モードのとき）

🎥📷 映像に効果をつける
エフェクト

🎥 映像のつなぎ目に効果をつける
場面切替

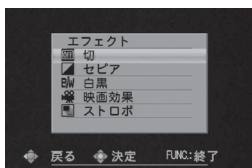
■終了する／中止するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

お知らせ

●「エフェクト」は撮影前に設定しておくこともできます。（P.41）

撮影した映像やシーンのつなぎ目に、いろいろな効果をつけて、
再生したりダビングしたりできます。(元の映像はそのまま残ります)

再生する動画や静止画全体に効果をつけます。

①効果を選び、決定する

●映像に効果がつく。

- セピア　：セピア色に
- B/W 白黒　：白黒の色に
- 映画効果　：早いコマ落とし（動画のみ）
- ストロボ　：コマ落とし（動画のみ）

②再生する

再生する動画や動画のつなぎ目に効果をつけます。

①効果を選び、決定する

●動画の最初と最後に効果が入る。

・フェーダー：フェードイン→フェードアウト

Wh 白(白↔カラー)
Bk 黒(黒↔カラー)
B.W 白黒(モノトーン↔カラー)

例)フェーダー：白

・ワイプ：ワイプイン→ワイプアウト

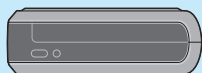
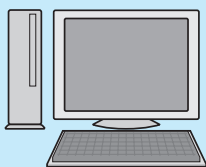
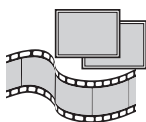
コーナー(右上↔左下)
ウィンドウ(中心↔周辺)
スライド(右↔左)
ドア(中心↔左右)
スクロール(下↔上)
シャッター(中心↔上下)

例)ワイプ：コーナー

②再生する

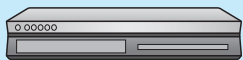
保存 1

いろいろな保存

これを使って…	こんなことができます
動画 — DVDライターで (P.66)	DVDに保存する
動画・静止画 — パソコンで ・Windows (P.76) ・Macintosh (P.84)	もっと編集・加工する / DVDに保存する / ホームページに載せる、メールで送る / 家でプリント(印刷)する

動画や静止画を撮影したら、後でどんなことをしたいかに合わせて、
DVDライター（別売）やパソコンに保存しましょう。

これを使って…	こんなことができます

動画

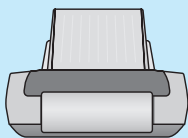
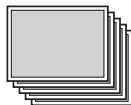
ビデオ機器で

（P.74）

DVDに保存する

テープに保存する

静止画

プリンターで

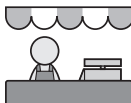
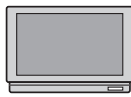
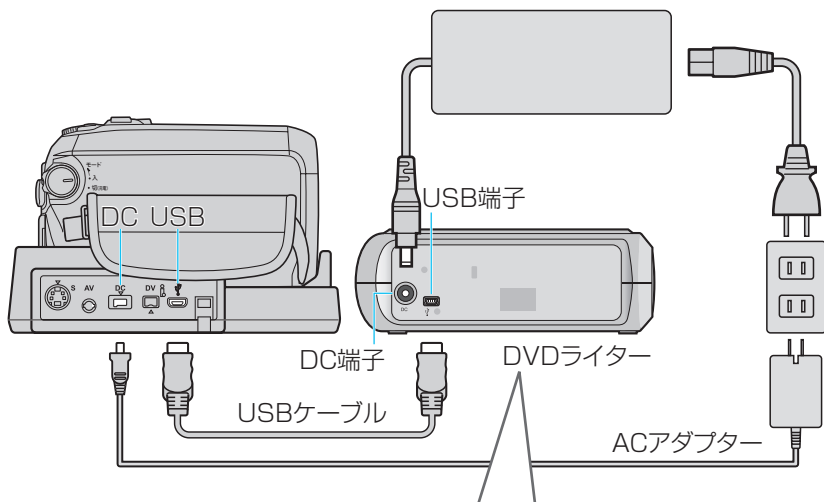
（P.90）

家でプリント（印刷）する

SDカードに写して…

（P.88）

お店でプリント（印刷）する

大画面テレビやカーナビで見る

DVDにコピーするⅠ(動画)

準備 ●電源/モードスイッチ:「切」
●DVDライター(別売)の電源:「切」
●DVDライター(別売)の説明書もご覧ください。

■先に新しいDVDをセットしておきます

①取り出しボタンを押す
●トレーが開く
②新しいDVD-R(別売)、
またはDVD-RW(別売)を入れる
③取り出しボタンを押す
●トレーが閉まる

記録できる DVDディスク	•DVD-R(未使用のもの) •DVD-RW
記録できない DVDディスク	•2層式のもの •8cmサイズ、特殊な形状のもの •キズのあるもの

DVDライター(別売)と接続して、動画やプレイリストの画質を落とすことなく、簡単にオリジナルDVDをつくることができます。

新しく撮ったシーンだけをコピーする

DVDの作成履歴から、一度もDVDにコピーしていないシーンが自動で選ばれ、ワンボタンでコピーしてDVDを作成します。

準備 ●電源/モードスイッチ:「入」
●DVDライターの電源:「入」

コピー元(本機)	コピー先(DVDライター)

① DVD作成画面を表示する

② 「実行」を選んで、決定する

(DVDにコピー開始)

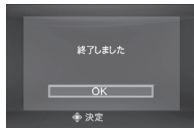
●中止するとき
➡「中止」を選び、決定する

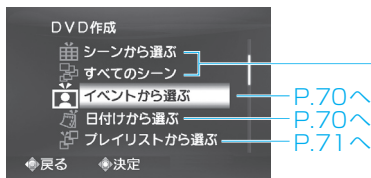
●「ディスクを入れ替えてください」と表示されたとき
➡新しいDVDに入れ替える

③ 終了する

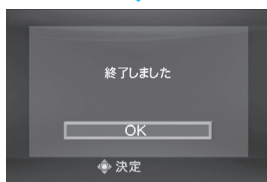
④ DVDを取り出す

DVD保存 2

DVDにコピーする II（動画）

1 DVDライターと接続する(P.66)

2 コピーしたい映像を選ぶ

3 「実行」を選び、決定する

●中止するとき
➡「キャンセル」を選ぶ

4 終了する

●「ディスクを入れ替えてください」と出たとき
➡新しいDVDを入れる

■作成したDVDを再生して確認するとき
➡手順②で「DVD確認再生」を選ぶ

■一度作成したDVDをもう一枚つくるとき ➡(P.72)

■DVDビデオを1枚ずつつくるとき
➡作成一覧画面で「DVD1」などを選ぶ

すべての動画を

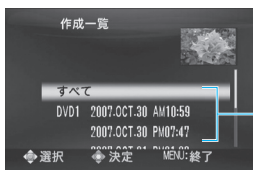
すべてのシーン

選んだ動画だけを

シーンから選ぶ

DVDライター(別売)と接続し、お好みの動画を
DVDにコピーして、オリジナルDVDをつくることができます。

本機(HDD)に撮影したすべての動画をDVDにコピーする。

①「すべて」を選び、決定する

●「DVD1」はDVD1枚目、「DVD2」はDVD2枚目にコピーされる。

選んだ動画だけをDVDにコピーする。

①動画を選び、決定する

撮影した動画　コピーする動画

●選んだ動画の一覧を見る➡「インデックス」ボタン押す
●選んだ動画の内容を確認する➡「決定」ボタン押す

②挿入位置を選び、決定する

(挿入位置は動画が
２つ以上あるときに選べる)

③手順①～②を繰り返し、
好みの順に動画を並べる

④確定する

⑤「すべて」を選び、決定する

(P.68 手順③へ)

DVD 保存 3

DVDにコピーする Ⅲ（動画）

選んだイベントの動画だけを

イベントから選ぶ

イベントを選び、そのイベントを登録しているすべての動画を、DVDにコピーする。

（P.68の手順②で「イベントから選ぶ」を選び）

①イベントを選び、決定する

②「すべて」を選び、決定する

●選んだイベントに含まれるシーンの一覧を見る
➡「インデックス」ボタン押す

③「実行」を選び、決定する（P.68 手順③へ）

選んだ撮影日の動画だけを

日付から選ぶ

選んだ日付に撮影したすべての動画をDVDにコピーする。

（P.68の手順②で「日付から選ぶ」を選び）

①撮影日を選び、決定する

②「すべて」を選び、決定する

③「実行」を選び、決定する（P.68 手順③へ）

DVDライター（別売）と接続し、「旅行」などのイベントや
撮影日などで動画をまとめてコピーして、オリジナルDVDをつくります。

**選んだ
プレイリストを**

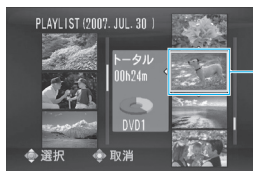
プレイリスト
から選ぶ

作成したプレイリストを選び、プレイリスト通りの
動画をDVDにコピーする。

（P.68の手順②で「プレイリストから選ぶ」を選び）

①プレイリストを選び、決定する

作成した
プレイリスト

DVDに
コピーする動画リスト

（選んだプレイリストが、DVDコピーリストに追加される）

②挿入位置を選び、決定する

（挿入位置はプレイリストが
２つ以上あるときに選べる）

③手順①～②を繰り返し、プレイリストを並べる

④確定する

⑤「すべて」を選び、決定する

⑥「実行」を選び、決定する（P.68 手順③へ）

DVD保存 4

DVDにコピーするⅣ（動画）

同じDVDを何枚もつくるとき

作成履歴から選ぶ

一度つくったDVDは、作成履歴から選んで簡単にもう一枚同じものをつくることができます。

（P.68の手順②で「作成履歴から選ぶ」を選び）

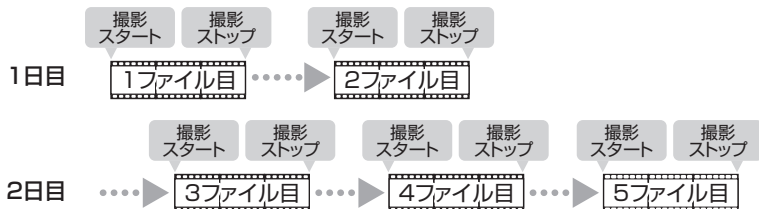
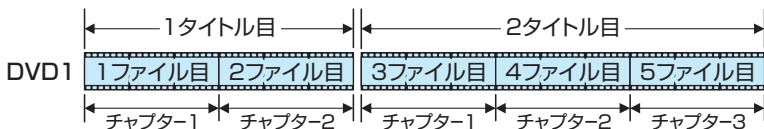
①前回、DVDを作成した日を選び、決定する

作成日

②「実行」を選び、決定する（P.68 手順③へ）

DVDライター（別売）と接続し、同じDVDを何枚もつくれます。

作成したDVDのタイトルとチャプター

撮影日がタイトルになり、その日に撮影したそれぞれのシーンがチャプターになります。

※1枚のDVDディスクに入りきらないときは、
2枚目の「DVD2」に続きを記録します。

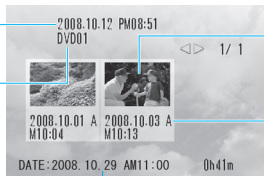
作成したDVDのトップメニュー

作成したDVDを、DVDプレーヤーなどで再生すると、
次のようなトップメニューが表示されます。（本機では表示されません）

ディスク名：
DVDの作成日時

DVD組番号：
2枚以上のDVDを
作成したときの
通し番号

ディスク作成日時

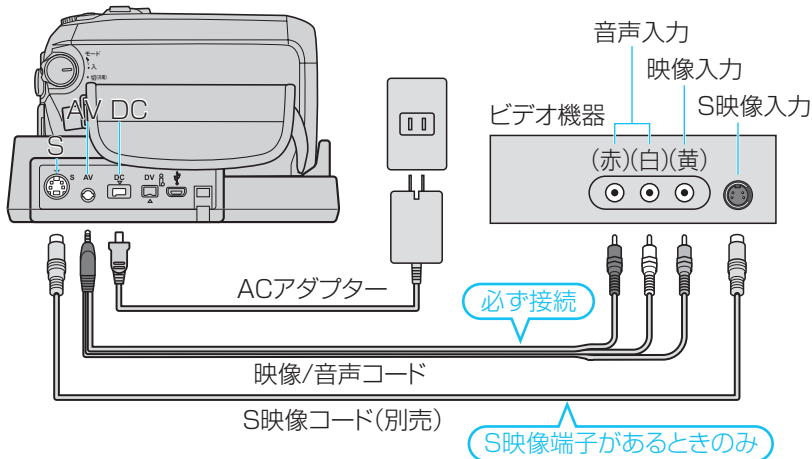
2008.10.12 PM08:51
DVD01
1/ 1
2008.10.01 A M10:04
2008.10.03 A M10:13
DATE:2008. 10. 29 AM11:00
0h41m

タイトルサムネイル：
タイトルの最初の
映像

タイトル名：
タイトルの撮影日時／
プレイリスト名
（プレイリストから作成
したとき）

●チャプターメニューは作成されません。

ビデオ保存 1

ビデオ機器にダビングする

準備 ●電源/モードスイッチ:「切」
●(DVDライターを接続しているときは)DVDライターの電源:「切」
●お使いのビデオ機器の説明書もご覧ください

■デジタルでダビングするとき

➡ビデオ機器(HDDレコーダーなど)のDV入力端子と本機のDV端子を、DVケーブル(別売)で接続する

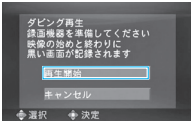
■本機を録画側にするとき

➡①「アナログ入力」を「入」にする(P.98)
②ビデオ機器の映像/音声出力端子に接続する
③本機の切換ボタンで「撮影」にし、録画ボタンで録画する

お知らせ

●本機の「アナログ入力」を「入」にした場合、録画する映像に画面比の「4:3」と「16:9」が混在していると、画面比が切り替わった所で本機の録画が停止します。画面比の混在した映像をダビングするときは、画面比が切り替わるごとに録画をしてください。

HDDレコーダーやビデオデッキなどのビデオ機器に接続して、
動画やプレイリストをダビングできます。

動画をダビングする

再生側(本機)	録画側(ビデオ機器)

1 録画の準備をする

2 動画を再生する(P.46)

3 録画を開始する

(ダビング中)

4 録画を停止する

プレイリストをダビングする

再生側(本機)	録画側(ビデオ機器)

1 録画の準備をする

2 「プレイリスト再生」(P.50)
でプレイリストを選び、

3 ダビング再生画面を表示する

4 「再生開始」を選び、決定する

・黒画面 → プレイリスト再生
→ 黒画面になる

5 黒画面が表示されているうちに
録画を開始する

(ダビング中)

6 黒画面が表示されているうちに
録画を停止する

・映像の最初と最後に約5秒間の黒画面が入る。

パソコン保存 1 パソコンに保存しよう!(Windows)

動画や
静止画を撮ったら…

付属のCD-ROMから、ソフトをパソコンに… **インストールする**(P.78)

※対応するWindowsを確認しておく(P.80)

本機とパソコンを **接続する**(P.80)

ワンボタンでかんたん!
「ダイレクトバックアップ」(P.81)

パソコンで楽ラク!
「バックアップ」(P.82)

「ビデオの再生」(P.77)

● 「並び替え」や「ソート」を使うことで、検索しやすくなります。

■ソフトについてのお問い合わせは(P.87)

動画や静止画を撮影した後は、パソコンに保存して、付属のソフトで再生や編集を楽しむことができます。

■付属のソフトをインストールすると…

「CyberLink PowerCinema NE for Everio」

●やりたいことを選ぼう!

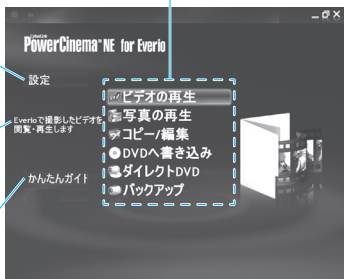
設定

各項目の細かい設定ができます。

機能説明

右の機能を選ぶと説明が表示されます。

かんたんガイド

DVDのつくりかたなどをインターネットで見られます。

●ビデオの再生

●写真の再生

●コピー/編集

●DVDへ書き込み

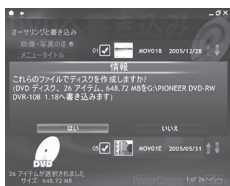
(P.83)

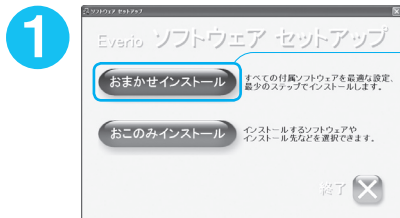
●ダイレクトDVD

(P.81)

●バックアップ

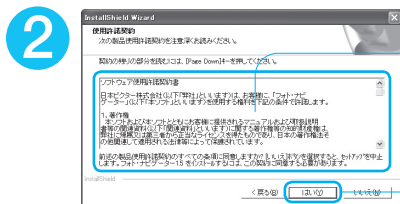
(P.82)

パソコン保存 2 インストールする(Windows)

準備：付属のCD-ROMをパソコンに入れる。(セットアップ画面が表示される)

1

(ソフトウェアセットアップ画面で)

「おまかせインストール」を押す

●「おこのみインストール」を選ぶと必要なソフトを選択して、インストールが可能です。

2

(フォト・ナビゲーターの使用許諾契約)

内容を確認し、

「はい」を押す

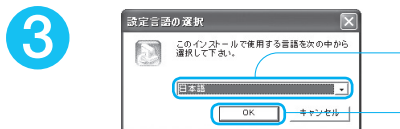
●フォト・ナビゲーターのインストールが始まる。

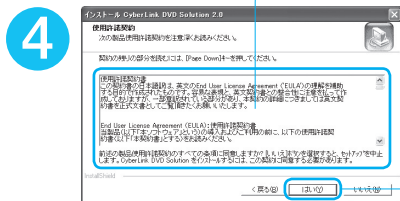
3

(設定言語の選択画面で)

言語を確認し、

「OK」を押す

4

(Cyber Link DVD Solution使用許諾契約の)

内容を確認し、

「はい」を押す

●CyberLink DVD Solutionのインストールが始まる。

➡PowerDirector Express(編集ソフト)、

➡PowerCinema(ファイル管理･再生ソフト)、

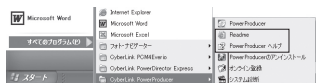
➡PowerProducer(DVD作成ソフト)のインストールが完了すると、画面を表示。

対応するパソコンの条件を確認し(P.80)、パソコンに保存した動画を再生・編集・DVD保存できる「CyberLink DVD Solution」と「フォト・ナビゲーター」をインストールします。

5

「完了」を押す

インストールが完了し、デスクトップにアイコンが作成される
(①の画面で「×」を押すと終了する)

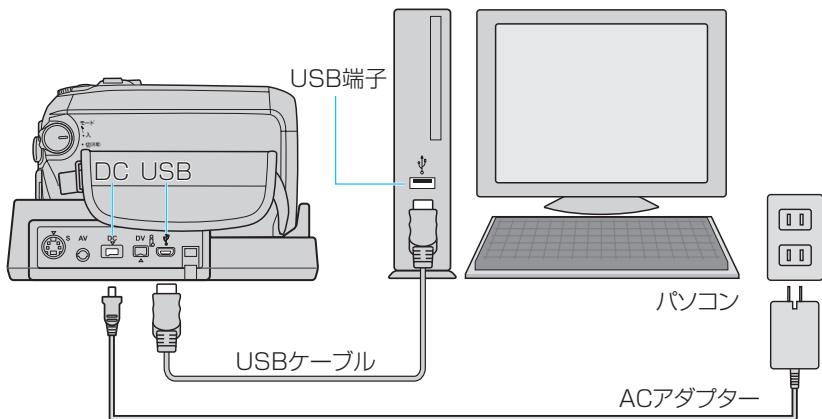
■インストール完了後は、スタートメニューから使えます

「スタート」→「すべてのプログラム」→
→「CyberLink PowerDirector Express」
→「CyberLink PCM4Everio」
→「CyberLink PowerProducer」
→「フォト・ナビゲーター」

●使いかたは、各ソフトの取扱説明書/ユーザーガイド/ヘルプ/Readmeをご覧ください。
●「おまかせインストール」では、フォトナビゲーターとPowerCinemaのみ、デスクトップにアイコンができます。

■ユーザー登録をする

「スタート」→「すべてのプログラム」→
「CyberLink PowerProducer」→
「オンライン登録」

バックアップする I（Windows）

準備 ●電源／モードスイッチ：「切」
●付属のCD-ROMからパソコンにソフトをインストールしておく（P.78）

■次の条件を満たすパソコンで、バックアップができます

OS：以下のいずれか（プリインストール版のみをサポート）
・Windows XP Home Edition
・Windows XP Professional

端子：標準装備のUSB2.0端子

■さらに次の条件を満たすパソコンで、付属ソフトが使えます（P.79）

CPU：Intel Pentium 4 1.6GHz 以上（2.2GHz以上推奨）
Intel Pentium M 1.4GHz以上推奨

メモリー：256MB以上（512MB以上推奨）

HDD空き容量：（インストールに必要な空き容量 550MB）
60GB以上推奨

ディスプレイ：1024×600ピクセル以上を表示可能なこと
（VRAM：128MB以上推奨）

記録型DVDドライブ：CyberLink社が対応するドライブ（P.87）

付属のソフト「CyberLink PowerCinema for Everio」をパソコンに入れておくと、本機からパソコンへのバックアップ（保存）も簡単にできます。

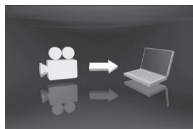
新しく撮った動画だけをバックアップする

バックアップの履歴から、一度も（接続した）パソコンにバックアップしていない動画と静止画が自動で選ばれ、パソコンにバックアップされます。

準備　●電源／モードスイッチ：「入」

バックアップ元（本機）	バックアップ先（Windows）

❶ ダイレクトバックアップする

ダイレクトバックアップ

（パソコンにバックアップ開始）

●ソフトが自動的に起動し、バックアップが始まる。

❷ ソフトを終了する

❸ 本機をはずし、終了する

押す

ハードウェアの安全な取り外し　15:23

①「ハードウェアの安全な取り外し」または「取り出し」から「USB大容量記憶装置デバイスードライブを安全に停止します」を選ぶ。
②「OK」を選ぶ。
③USBケーブルを抜く。

■DVDにバックアップするとき

➡①ダイレクトDVDボタンを押す。
②P.83④の画面で「はい」を選ぶ。
③DVD書き込みが終わったら、本機をはずして終了する。

パソコン 保存 4

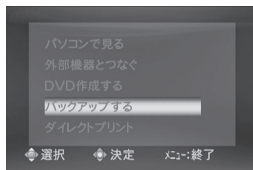
バックアップする Ⅱ(Windows)

メディアを選んでバックアップする

本機とパソコンを接続すると、本機のメニューまたはパソコンのソフトを使って、バックアップ(保存)できます。

準備
- ●付属のCD-ROMから、パソコンにソフトをインストールしておく(P.78)
- ●本機とパソコンを接続する(P.80)
- ●電源/モードスイッチ:「入」

バックアップ元(本機)	バックアップ先(Windows)

1 「バックアップする」を選び、決定する

2 バックアップしたいメディアを選ぶ

HDD
SD カード

●保存先を調べる、変更するとき
→「設定」→「バックアップフォルダ」

お知らせ

●パソコンのPowerCinema NE for Everioの画面で「バックアップ」を選ぶこともできます。その場合は、あらかじめ本機の画面で「パソコンで見る」を選んでください。

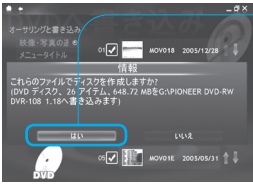
■ソフトをインストールせずにバックアップするとき

➡①本機とパソコンを接続し、電源を入れる。

②(本機で)「パソコンで見る」を選び、決定する。

③(パソコンで)デスクトップに表示された「EVERIO_HDD」の中の「フォルダを開いてファイルを表示する」を選ぶ。

④「SD_VIDEO」(動画フォルダ)や「DCIM」(静止画フォルダ)をコピーする。(P.86)

パソコンからDVDに保存する

本機からパソコンにバックアップした動画などを使って、DVDビデオを簡単につくります。

1

（PowerCinema NE for Everioで）
「DVDへ書き込み」を選ぶ

2

DVDに保存したい動画に
□をクリックし、☑にする

「オーサリングと書き込み」を選ぶ

3

選んだ動画を確認し、

「ディスクへ書き込み」を選ぶ

4

「はい」を選ぶ

（書き込みが終了したら、「OK」を押して終了）

パソコン 保 存 5

パソコンに保存しよう!（Macintosh）

■次の条件を満たすパソコンで、バックアップができます

OS：以下のいずれか
・Mac OS X　10.3.1～10.3.9
・Mac OS X　10.4.2～10.4.8

端子：標準装備のUSB2.0端子

●別売ソフトが使えるパソコンの条件は、ピクセラ社のホームページにてご確認ください。（P.85）

本機とパソコンを **接続する** （P.80）

残したいデータをパソコンに **手動でコピーする** （P.86）

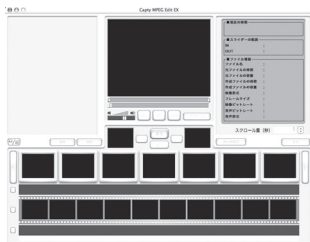
パソコンでフォルダやファイルをコピー!

・静止画はJPEG形式で保存されています。
・動画を再生するには、別売の専用ソフト（P.85）が必要です。

別売のソフトを **用意する**

動画や静止画を撮影した後は、Macintoshに保存して、別売のソフトで再生や編集を楽しむことができます。

■動画は、別売のソフトをダウンロードして…

●「Capty MPEG Edit EX」で、カット編集!

●「mono DVD」で、DVDをつくる!

●「Capty DVD/VCD2」で本格的なDVD作成を!

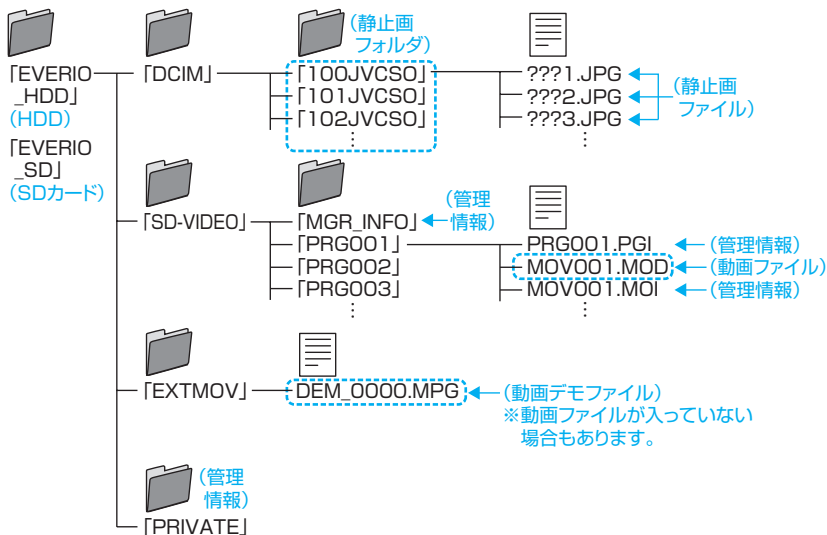
・これらのソフトウェアは、ピクセラ社のホームページから有償でダウンロードできます。
→http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/j/index.html
詳しくはピクセラ社までお問い合わせください。

■静止画は、Macのソフトで…

●「iPhoto」で、アルバムやカレンダーをつくろう!

パソコン保存 6

フォルダとファイルの一覧

HDDとSDカードには、フォルダとファイルが次のように作成されます。
フォルダとファイルは、必要になったときに作成されます。

■動画デモを見るとき

➡ファンクションメニューの「MPGファイル再生」で見ることができます。(P.62)

■Macintoshをお使いのとき

➡次の操作で動画や静止画をバックアップする。

①電源/モードスイッチを「切」に合わせる。
②本機をUSBケーブルでパソコンに接続してから、電源を入れる。
(デスクトップなどに、本機のHDDやSDカードが表示されます)
③上図を参考に、ファイルやフォルダをパソコンにコピーする。
④本機のHDDとSDカードをゴミ箱にドラッグし、USBケーブルを抜く。
または、Finderウインドウのサイドバーで、本機のHDDとSDカードのイジェクトアイコン(⏏)をクリックし、USBケーブルを抜く。

付属ソフトで困ったときは…

付属のソフト(P.79)の操作などで困ったときは、下記へお問い合わせください。
(パソコン本体の操作がわからないときは、パソコンの取扱説明書をご覧ください)

「CyberLink DVD Solution」のお問い合わせ先

サイバーリンク株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川5-6-27
ファーニスビル5階

■ご連絡いただきたい内容

- 登録されたCD-key
  「MS29516684838246」
- パソコン(Windows)のOSバージョン
  例:Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号:0570-080-110
(ナビダイヤルが使用できない場合)
03-3516-9555
受付時間:月～金
10:00～13:00/
14:00～17:00
(祝日、弊社指定の休業日を除く)

FAXでの問い合わせ

FAX番号:03-3516-9559

インターネットでの問い合わせ

http://jp.cyberlink.com/support/

●ご質問いただく前に、サポートページの「よくあるご質問とその答え」をご覧ください。

「フォト・ナビゲーター」のお問い合わせ先

日本ビクター株式会社

DVご相談窓口

■ご連絡いただきたい内容

- パソコン(Windows)のOSバージョン
  例:Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号:045-450-2770

インターネットでの問い合わせ

http://www.victor.co.jp/

●ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。なお弊社では、お使いのパソコンについての基本的な操作方法、OS、ほかのアプリケーション、ドライバの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

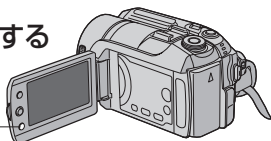
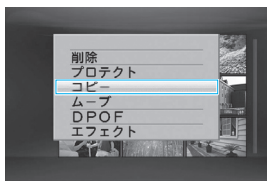
●ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて(P.118)

■対応ドライブの確認方法　http://jp.cyberlink.com/multi/program/page/_page_display.jsp?seqno=3729

移 動 1

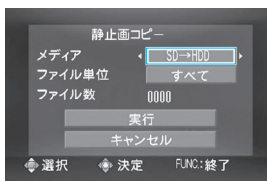
HDD↔SDカードに移す（静止画）

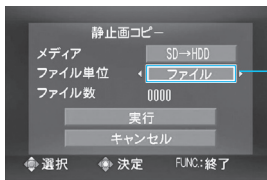
準備 ●電源／モードスイッチ：📷モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「コピー」または「ムーブ」を選び、決定する

3 「SD→HDD」または「HDD→SD」を選び、決定する

4 コピーまたはムーブする静止画を選ぶ

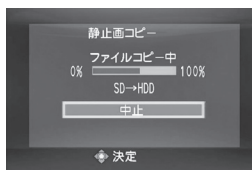
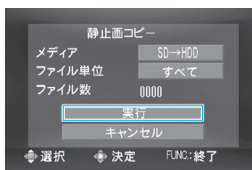
すべての静止画を

すべて

選んだ静止画を

ファイル

■終了するとき ➡「ファンクション」ボタン押す

撮影した静止画をHDDとSDカード間でコピーしたり、ムーブ（複製せずに移動）させたりできます。静止画をお店でプリント（現像）するときなどに便利です。

すべての静止画をコピーまたはムーブ（移動）します。

①「実行」を選び、決定する

選んだ静止画だけをコピーまたはムーブ（移動）します。

①コピーまたはムーブ（移動）したい静止画を選び、決定する

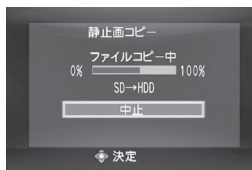
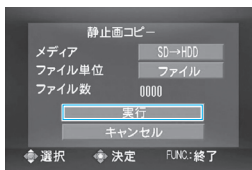
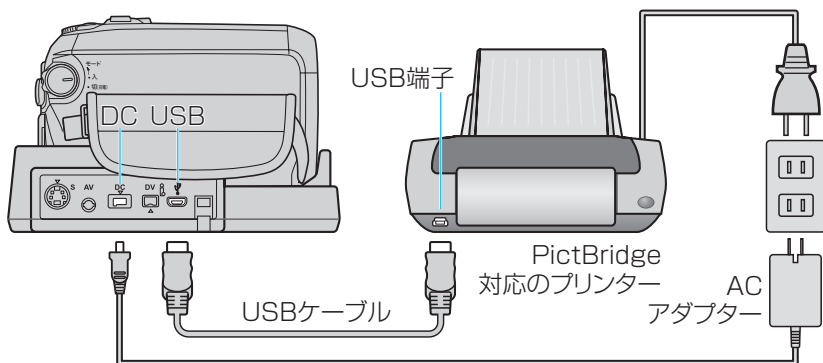
（選んだ静止画に☑がつく）

②手順①を繰り返し、静止画を選ぶ

③確定する

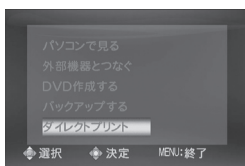
ファンクション

④「実行」を選び、決定する

印刷 1 プリンターでプリントする

準備　●電源／モードスイッチ：「切」

ダイレクトプリントする

準備　●電源／モードスイッチ：📷モード
　　　●切換ボタン：「再生」

「ダイレクトプリント」を選び、決定する

2 印刷方法を選び、決定する

●「DPOF印刷」をするには、「DPOF」で、プリントする枚数などを指定しておく必要があります。（P.92）

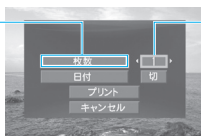
PictBridge対応のプリンターをお使いの場合、
ご家庭で簡単に静止画をプリント(印刷)できます。

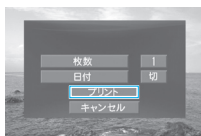
1枚ずつ枚数と日付表示を選んで

選択印刷

プリントする枚数と日付印刷の入/切が選べます。

①プリントする静止画を選び、決定する

②「枚数」を選び、枚数を選ぶ

③「日付」を選び、表示の入/切を選ぶ

④「プリント」を選び、決定する

●続けてプリントするとき➡「継続」選ぶ

プリント指定を使って

DPOF印刷

プリントする静止画や枚数などをあらかじめ指定しておくと(P.92)、自動でプリントできます。

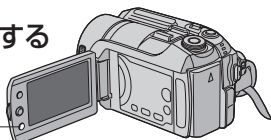
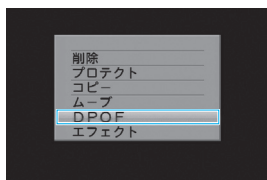
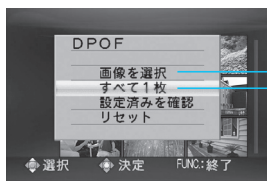
①「プリント」を選び、決定する

●プリント指定した内容を確認したいとき
➡「設定確認」選ぶ

印刷 2

プリント指定をしておく(DPOF)

準備　●電源/モードスイッチ：◘モード
　　　●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「DPOF」を選び、決定する

3 設定方法を選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■プリント指定を確認するとき
➡手順③で「設定済みを確認」を選ぶ

■プリント指定をすべて取り消すとき
➡手順③で「リセット」を選ぶ

お知らせ

●画面比が16:9の静止画(P.97)をお店でプリントすると、両端が切られることがあります。プリントするお店に確認してください。

静止画や枚数を選ぶ

画像を選択

すべての静止画を1枚ずつ

すべて1枚

撮影した静止画をお店に持ち込む前やプリント(印刷)する前に、
プリントする枚数を静止画ごとに指定できます。

プリントする静止画の指定や、枚数を設定できます。

①静止画を選び、決定する

プリントする
静止画

②枚数を選び、決定する

プリントする
枚数
(最大15枚)

③手順①〜②を繰り返し、プリント指定をする

④確定する

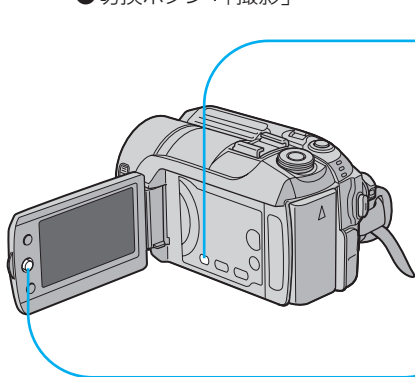
ファンクション

すべての静止画を、1枚ずつプリントするように設定できます。

①「実行」を選び、決定する

②終了する

設定 1 設定を変える

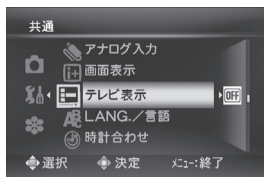
準備　●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
　　　●切換ボタン：「撮影」

1 メニュー M　メニューを表示する

2 左の列に移動する

3 メニューを選び、決定する

■設定を終了するとき
➡「メニュー」ボタン押す

■一つ前の画面に戻るとき
➡「⬅」押す

■すべての設定をお買い上げ時に戻すとき
➡ 共通メニューの「プリセット」(P.99)

4 項目を選び、決定する

お知らせ

●それぞれの項目の詳しい設定内容は各ページをご覧ください。

5 内容を選び、決定する

画質や撮影時の効果、画面表示などの設定を変えたり、
本体のHDDやSDカードをフォーマットしたりできます。

メニュー一覧

〈ビデオメニュー〉

項目	ページ
画質	P.96
ズーム倍率	P.96
手ぶれ補正	P.96
16：9撮影	P.96
感度アップ	P.96
ウィンドカット	P.96
動画メディア	P.96
シーンカウンター	P.96
外部マイクレベル	P.96

〈メディアメニュー〉

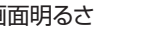
項目	ページ
HDDクリーンアップ	P.100
HDDフォーマット	P.100
HDDデータ消去	P.100
SDフォーマット	P.100
動画番号リセット	P.100
静止番号リセット	P.100

〈スチルメニュー〉

項目	ページ
画質	P.97
画像サイズ	P.97
感度	P.97
連写	P.97
静止画メディア	P.97

〈共通メニュー〉

項目	ページ
画面明るさ	P.98
落下検出	P.98
リモコン	P.98
デモモード	P.98
操作音	P.98
接続テレビ選択	P.98
アナログ入力	P.98
画面表示	P.98
テレビ表示	P.99
LANG./言語	P.99
時計合わせ	P.99
日付表示配列	P.99
日時表示	P.99
プリセット	P.99
高速起動	P.99
オートパワーオフ	P.99
カラーモード	P.99

設定 2 ビデオ／スチルメニュー

メニュー	項目	内容
ビデオメニュー	画質	ウルトラファイン：最高画質 ● ファイン：高画質 ノーマル：標準画質 エコノミー：長時間撮影ができる
	ズーム倍率	10倍/10x：10倍までズームできる ● 40倍/40x：40倍までズームできる 200倍/200x：200倍までズームできる
	手ぶれ補正	切：設定しない ● 入：手ぶれによる映像のブレを低減する • 三脚などで固定して撮影するときは ➡「切」にする。(「入」では逆に不自然な映像になる) • 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがある。
	16：9撮影	切：4：3の画面比で撮影するとき ● 入：16：9のワイド画面比で撮影するとき •「画質」が「エコノミー」のときは、画面比が「4:3」になる。
	感度アップ	切：調節しない ● 入：暗いところで電気的に明るく調節する
	ウィンドカット	● 切：低減しない 入：風の音を低減する
	動画メディア	● HDD：動画を本体のHDDに記録する SD：動画をSDカードに記録する
	シーンカウンター	● 切：表示しない 入：撮影開始からの経過時間を表示する
	外部マイクレベル	切：表示しない ● 入：外部マイクを接続すると表示する

●印は、お買い上げ時の設定です

ビデオメニューで動画撮影時の設定、
スチルメニューで静止画撮影時の設定を変えられます。

メニュー	項目	内容
スチルメニュー	画質	● ファイン:高画質(撮影枚数が少ない) スタンダード:標準画質(撮影枚数が多い)
	画像サイズ	● 2592×1944(5M) 2304×1728(4M) 1600×1200(1.9M) 640× 480(0.3M) 2592×1456(3.8M) 1920×1080(2M) 1280× 720(0.9M)
	感度	● オート:周囲の明るさに応じて調整する 50:ISO 50フィルム相当に設定する 100:ISO 100フィルム相当に設定する 200:ISO 200フィルム相当に設定する 400:ISO 400フィルム相当に設定する • 感度の数値を上げると、ノイズで粗くなる。
	連写	● 切:連写しない 入:静止画ボタンを押し続けているあいだ、連写する(最大1枚/秒) ブラケット:自動または手動で設定した明るさを中心に、少し暗い静止画(-0.3EV)と、少し明るい静止画(+0.3EV)の、3種類の静止画を連写する • シャッタースピード優先AEに設定しても(P.39)、ブラケット撮影ではシャッタースピードが固定されない。 • SDカードによっては、連写できないことがある。 • 連写し続けると、連写速度が低下する。
	静止画メディア	● HDD:静止画を本体のHDDに記録する SD:静止画をSDカードに記録する

●印は、お買い上げ時の設定です

設定 3 共通メニュー

メニュー	項目	内容
共通メニュー	画面明るさ	(暗く)－ ＋(明るく) ・「⬅ ➡」で液晶画面の明るさを調節する。
	落下検出	OFF 切:落としても停止しない ● ON 入:HDDの破損を防ぐため、本機を落とすと撮影や再生を停止する ・本機を落とさなくても撮影や再生が停止するときは ➡「切」にする。 ・「入」にしてもHDDを保護できないことがあります。
	リモコン	OFF 切:リモコンでの操作を受け付けない ● ON 入:リモコンで操作できる
	デモモード	OFF 切:設定しない ● ON 入:SDカードを入れずに電源を入れ、「撮影」にすると、約3分後に本機の機能のデモが確認できる(ACアダプター接続時のみ)
	操作音	OFF 切:消す ● ♫ メロディー:操作時にメロディー音を鳴らす
	接続テレビ選択	4:3 4:3:4:3の標準テレビに接続する ● 16:9 16:9:16:9のワイドテレビに接続する
	アナログ入力	● OFF 切:AV端子を出力として使用する ON 入:AV端子を出力から入力に切り替える(接続したビデオ機器の映像を、本機のHDDに録画するなど)
	画面表示	OFF 切:アイコンや日付を表示しない ● ON 入:アイコンや日付を表示する ・「切」に設定しても、オート撮影時や「日付表示」の設定時は日時が表示される。

●印は、お買い上げ時の設定です

共通メニューでは、撮影時や再生時に共通する表示の設定などを変更できます。

メニュー	項目	内容
共通メニュー	テレビ表示	● OFF 切：テレビに、アイコンや日付を表示しない ON 入：常に表示する
	LANG./言語	● 日本語：メニューなどを日本語で表示する ENGLISH：英語で表示する(P.105)
	時計合わせ	現在時刻を合わせる(P.28)
	日付表示配列	● 年.月.日/日.月.年/月.日.年(日付配列) ● 24h/12h(時間表示)
	日時表示	OFF 切：表示しない ● A オート：(撮影時)「撮影」に切り替えたとき、(再生時)動画や静止画を表示したとき、日付が変わったときに、約5秒間表示する ON 入：常に表示する
	プリセット	● キャンセル 実行：すべての設定をお買い上げ時に戻す
	高速起動	OFF 切：高速起動しない ● ON 入：クイックパワーオフ時(P.31)、5分以内に再び液晶画面を開くとすぐに起動する ・「入」にすると、クイックパワーオフから5分間、消費電力が撮影時の約半分になる。電源を入れておくより節電できる。
	オートパワーオフ	OFF 切：5分放置しても電源が切れない ● ON 入：電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源切、ACアダプター使用時は待機状態になる
	カラーモード	ナチュラル：自然な色合いを再現する ● ビビッド：あざやかな色合いにする

●印は、お買い上げ時の設定です

❀メディアメニュー

メニュー	項目	内容
❀メディアメニュー	HDDクリーンアップ	実行：HDDに関わる不具合を解消できることがある ●キャンセル
	HDDフォーマット	実行：HDD内のすべてのデータを削除し、HDDをフォーマット（初期化）する ●キャンセル
	HDDデータ消去	実行：本機を廃棄するときに使う（ダミーデータの書き込みとフォーマットにより、完全にデータを消去する） ・繰り返すことで、復元をさらに困難にすることができる。 ●キャンセル
	SDフォーマット	実行：SDカード内のすべてのデータを削除し、SDカードをフォーマット（初期化）する ・SDカードが入っていないときは、選べない。 ●キャンセル
	動画番号リセット	実行：HDDやSDカードに記録される動画のフォルダを新しくつくり、ファイル名の数字をリセットして「1」から始める ・例）「PRG001」フォルダの「MOV029.MOD」 →「PRG002」フォルダの「MOV001.MOD」 ●キャンセル
	静止画番号リセット	実行：HDDやSDカードに記録される静止画のフォルダを新しくつくり、ファイル名の数字をリセットして「1」から始める ・例）「101JVCSO」フォルダの「PIC_0259.JPG」 →「102JVCSO」フォルダの「PIC_0001.JPG」 ●キャンセル

●印は、お買い上げ時の設定です

メディアメニューでは、HDDやSDカード内の動画・静止画データをまとめて削除したり、整理したりできます。

■HDDの性能を維持するには

➡定期的に、「HDDクリーンアップ」を実行する。

■HDDに不具合が生じたとき

➡①「HDDクリーンアップ」を実行します。

②不具合が解消しないときは、「HDDフォーマット」をします。（データは削除されます）

③それでも不具合が解消できないときには、フォーマット後にパソコンでチェックディスクを実行します。

④解消できない場合は、「ビクターサービス」に修理をご依頼ください。（P.118）

お知らせ

●HDDクリーンアップとHDDデータ消去は、終了まで時間がかかります。ACアダプターを使い、コンセントと接続してください。（P.27）

仕様

一般

項目	内容
電源	ACアダプター使用時　DC11V バッテリー使用時　　DC7.2V
消費電力	3.9W（ライト使用時：4.1W）
外形寸法（mm）	74×72×118（幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず）
質量	本体　：約425g（グリップベルトを含む） 撮影時：約470g（バッテリーBN-VF808、グリップベルトを含む）
動作環境	許容動作温度：0℃～40℃、許容保存温度：－20℃～50℃ 許容相対湿度：35%～80%

カメラ部・液晶部

項目	内容
映像素子	1/2.5型537万画素 撮像エリア：398万画素（動画）、504万画素（静止画）
レンズ	F3.5、f=6.3mm～63mm （35mmカメラ換算　動画　43mm～430mm 　　　　　　　　　静止画 38mm～380mm）
フィルター径	46mm（ネジピッチ0.75mm）
最低照度	15ルクス（シャッタースピード：1/60） 1ルクス（ナイトアイモード、シャッタースピード：1/2）
液晶画面	2.7型、11.2万画素、アモルファスカラー液晶
ライト	推奨撮影距離：1.5m以下、LEDタイプ
フラッシュ	推奨撮影距離：2m以内
ズーム	動画撮影時　：光学ズーム10倍まで、デジタルズーム200倍まで 静止画撮影時：光学ズーム10倍まで　再生時5倍まで

端子部

項目	内容
AV端子	映像：アナログ入力/出力 音声：ステレオ、アナログ入力/出力
USB端子	ミニUSB-ABタイプ、USB 2.0
マイク端子	φ3.5mmミニジャック ：ステレオ、アナログ入力

エブリオドック

項目	内容
S端子	S映像：アナログ入力/出力
AV端子	映像：アナログ入力/出力 音声：ステレオ、アナログ入力/出力
DV端子	4ピン（i.LINK/IEEE1394準拠）
USB端子	ミニUSB-ABタイプ、USB 2.0

内蔵ハードディスク部

項目	内容
容量	GZ-MG575（40GB）、GZ-MG555（30GB）

ACアダプター(AP-V14)

電源	AC 100V—240V、50Hz/60Hz
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0℃〜40℃(充電時は10℃〜35℃)
外形寸法(mm)	50×27×71(幅×高さ×奥行き)(コードとACプラグを含まず)
質量	約100g

バッテリー(BN-VF808)

電圧	DC 7.2V
容量	730mAh
外形寸法(mm)	30.5×18×52(幅×高さ×奥行き)
質量	約45g

時計用電池

種類	一次電池

リモコン(RM-V750)

種類	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約1年(使用頻度により変わる)
動作距離	約5m(正面軸上)
許容動作温度	0℃〜40℃
外形寸法(mm)	42×14.5×91(幅×高さ×奥行き)
質量	約30g(ボタン電池を含む)

静止画

記録方式	JPEG準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	(P.45)
画質	ファイン/スタンダード
記録メディア	ハードディスク(内蔵)、SDメモリーカード(市販)

動画

録画/再生方式	SD-VIDEO 規格準拠 MPEG-2(映像)、Dolby Digital(音声)	
拡張子	.MOD	
信号方式	NTSC 日米標準信号方式	
画質・音質	ウルトラファイン	720ピクセル×480ピクセル、8.5Mbps VBR(映像)、48kHz、384kbps(音声)
	ファイン	720ピクセル×480ピクセル、5.5Mbps VBR(映像)、48kHz、384kbps(音声)
	ノーマル	720ピクセル×480ピクセル、4.2Mbps VBR(映像)、48kHz、256kbps(音声)
	エコノミー	352ピクセル×240ピクセル、1.5Mbps VBR(映像)、48kHz、128kbps(音声)
記録メディア	ハードディスク(内蔵)、SDメモリーカード(市販)	

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

技術情報

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

バッテリーの処分について

●バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。

・お問い合わせ: 有限責任中間法人 JBRC　http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

・録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

他社製品の登録商標と商標について

・本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
・MASCOT CAPSULE
MascotCapsuleは、株式会社エイチアイの日本国における登録商標です。Copyright ©2001 HI CORPORATION. All rights reserved.
・Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・Macintosh、Mac OSは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
・Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

For English Users

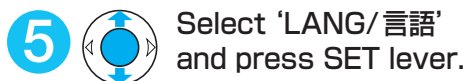
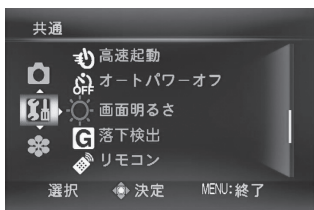
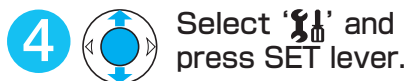
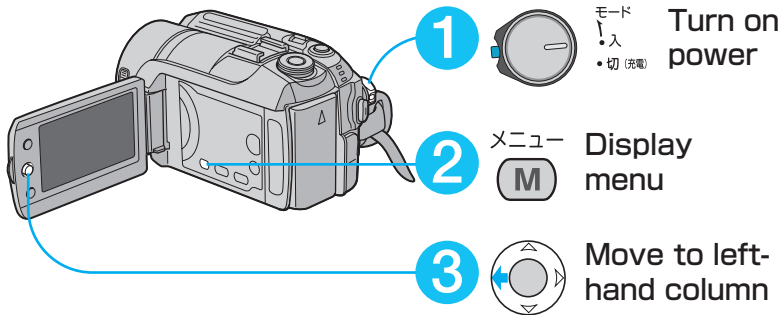
To change the Menu indications etc. to English.

1. Turn on power
2. Display menu
3. Move to left-hand column

4. Select '' and press SET lever.

5. Select 'LANG/言語' and press SET lever.

6. Select 'English' and press SET lever.

7. Press MENU button

故障かな!?と思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。不具合があるときは…

→①まず、以下の表にしたがって対応する。

→②それでも解決しないときは、本機をリセットする。(P.111)

→③それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください
カード	SDカードが入らない	●SDカードの向きを確認する。(P.25)
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。
撮影中	撮影できない	●電源を入れる。 ●切換ボタンで「撮影」にする。
撮影中	勝手に撮影が停止した	●本機の温度が上がると、液晶画面の「REC」が点滅し、そのまま上がり続けると、HDDの保護のため自動で停止します。 ●大音量の場所、振動する場所から移動する。
撮影中	自動でピントが合わない	●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。 ●画面の左上に「M」アイコンが表示されているときは、「A」アイコンにする。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、手動でピントを合わせる。

	こんなときは	ここを確かめてください
撮影中	被写体が暗い	●ライト、フラッシュ、逆光補正、ナイトアイを使う。 ●明るさ補正を「+」側に設定する。 ●動画の場合、ビデオメニューで「感度アップ」を「入」にする。 ●静止画の場合、スチルメニューで「感度」を「オート」または「400」にする。 ●屋内/屋外モード(NDフィルター)を「屋内モード(NDフィルター:なし)」にする。
撮影中	被写体が明るい	 ●逆光補正を使っているときは解除する。 ●明るさ補正を「−」側に設定する。
撮影中	被写体の色がおかしい	 ●自然な色合いになるまで、しばらく待つ。(ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。) ●照明や背後にいろいろな光源があるときは、ホワイトバランスの「ワンタッチ」で調節する。
撮影中	映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。
撮影中	デジタルズームできない	●ビデオメニューで「ズーム倍率」を「40倍」か「200倍」にする。
撮影中	ホワイトバランスを設定できない	 ●エフェクトで「セピア」や「白黒」を選んでいるときは使えません。

故障かな!?と思ったら…

	こんなときは	ここを確かめてください
撮影中	静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するSDカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。
撮影中	機能が働かない	●機能を示すアイコンの表示を確認する。 ●アイコンが点滅または消えているときは、16:9撮影と画質の「エコノミー」などの同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。
撮影中	日時表示がでない	●共通メニューので「日時表示」を「入」にする。
液晶画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
液晶画面	画面が熱くなる	●電源を切ってしばらく置く。
液晶画面	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。(圧迫すると映像ムラが生じます)
液晶画面	アイコン表示が点滅または消える	●16:9撮影と画質の「エコノミー」などの同時に使えない機能を選んでいるときは、どちらかの機能を使うのをやめる。

	こんなときは	ここを確かめてください
液晶画面	画面が見にくい	●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。
液晶画面	画面が表示されない	●本機を操作する。 （ACアダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、スリープモードになり、動画/静止画ランプが点灯し、液晶画面のバックライトが消えます。）
液晶画面	バッテリー残量が正しく表示されない	●バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。 ●高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがある。
再生中	同じ映像が長く止まって見える 映像がカクカクした動きに見える	●SDカードを交換する。 （SDカードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。） ●クリーンアップやフォーマットを実行する。
再生中	音や映像が途切れる	●シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。
再生中	雑音が聞こえる	●撮影中に本機を急に動かさない。（撮影中に本機を急に動かすと、ハードディスクの駆動音が記録されることがあります。）
再生中	テレビの画面が不自然に見える（たて長など）	●共通メニューの「接続テレビ選択」でお使いのテレビ画面にする。

故障かな!?と思ったら…

こんなときは	ここを確かめてください
その他	
動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い	●メディア内のファイルをパソコンへコピーし、メディアから削除する。（メディアに静止画などが多数（約1,000 ファイル以上）あると、処理に時間がかかります。）
充電中、ランプが点滅しない	●バッテリー残量を確認する。（バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。） ●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。（範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。）
通信時エラー表示がでる	●USB ケーブルを正しく接続する。 ●USB ハブを使わずに、プリンターに直接接続する。
DVD 作成メニューに入ったときメニューから抜けられない	●DVD ライターの電源を「切」にする。
本機が熱くなる	●故障ではありません。
リモコンがきかない	●電池を交換する。 ●野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。
「外部機器とつなぐ」という機能が使えない	●本機の発売時点では、接続できる外部機器はありません。

■次の場合は故障ではありません。

●太陽光が映ると、液晶画面が一瞬赤か黒になる。

●液晶画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
（液晶画面には99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります）

■本機をリセットするには

①電源を「切」にする。

②本体からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる。

③共通メニューの「プリセット」を実行する。

こんな表示がでたら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。不具合があるときは…

→①まず、以下の表にしたがって対応する。

→②それでも解決しないときは、本機をリセットする。（P.111）

→③それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

こんな表示	ここを確かめてください
HDDに空き容量がありません	●ファイルを削除する。パソコンなどのメディアに移す。
カードに空き容量がありません	●ファイルを削除する。パソコンなどのメディアに移す。新しいカードに交換する。
通信エラーです	●バッテリーをもう一度付け直す。
カードエラー	●カードを入れ直す。（マルチメディアカードは使用できません。）
HDDエラー	●クリーンアップやフォーマットを実行する。
未対応のファイルです	●対応する形式のファイルを使う。
フォーマットエラー	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。
対応ファイルがありません	●静止画を撮影する。
フォルダ数が制限を超えています	●パソコンなどにコピーし、メディアをフォーマットする。
ライトプロテクトがかかっています	●SDカードのライトプロテクトスイッチを解除にする。

こんな表示	ここを確かめてください
未対応のUSB機器です	●DVDライターの電源を「入」にする。
カードへ記録できませんでした	●クリーンアップする。 ●動作確認済みのカードか確認する。
HDDへ記録できませんでした	●クリーンアップする。 ●振動や衝撃を与えないようにする。
プロテクトがかかっています	●ファンクションメニューの「プロテクト」で解除する。
設定枚数エラー	●1〜999枚に設定する。
プリンターエラー	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。
レンズカバー	●レンズカバーを開ける。
イベント記録がありません	●イベントを設定する。
プレイリストがありません	●プレイリストを作成する。
プレイリストに登録されているシーンが存在しません いくつかのシーンが再生されません	●プレイリストを作成する。
コピーガードがかかっています	●コピーガードがかかっていない映像を録画する。

こんな表示がでたら…

こんな表示	ここを確かめてください
カードに正常に記録できない可能性があります	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。
カードを正常に再生できませんでした	
HDDに正常に記録できない可能性があります	
HDDを正常に再生できませんでした	
初期化失敗しました	●ディスクを入れ替える。
ディスクへ書き込みできませんでした	
ファイナライズ失敗しました	
どちらかのAVコードを抜いてください	●本機から映像/音声コードを抜く。
フォーマットされていないカードです	●フォーマットする。
日時を設定してください	●日時を設定する。(設定後も表示が消えないときは、時計用の電池が消耗しています。販売店へご連絡ください。)
連写できないカードです	●書き込み速度が速い(10MB/s以上)カードに変える。

さくいん

数字

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

保障とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな?!と思ったら…」(P.106)にしたがって、まずご確認を。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーとACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本機や付属品、SDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ハードディスクムービー
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■保証期間中は
保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理の際は、取扱説明書のP.119をコピーしたものに、必要事項をご記入の上、本機に添付してください。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●ご不明な点や
修理に関するご相談は…

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口案内」（別紙）にご相談ください。

ご相談窓口における
個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

お預かりした商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いします。しかし、修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってHDD（ハードディスク）の初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。そのため、事前にバックアップしておかれることをおすすめします。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに✓マークをお願いします。

□同意する　□同意しない

日付：＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

ご署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

修理や点検を依頼されるときは、この同意書のコピーにご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

製品についてのご相談・修理のご依頼

まず、お買い上げの販売店にご相談ください

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は…

修理に関するご相談

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください

技術的なご相談

DVご相談窓口

電話：(045) 450-2770

お買い物情報や全般的なご相談

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-2828-17

●携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話：(045) 450-8950
FAX：(045) 450-2275

〒221-8528
横浜市神奈川区守屋町3-12

愛情点検	●長年お使いのムービーの点検をぜひ!
	このような症状はありませんか ｜ ●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある → ご使用を中止 ｜ 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M7E8 0107MKH-HT-VP